

Abura  
katabura

since 1995

for ADULT only



獣欲姦獄ナオエル!

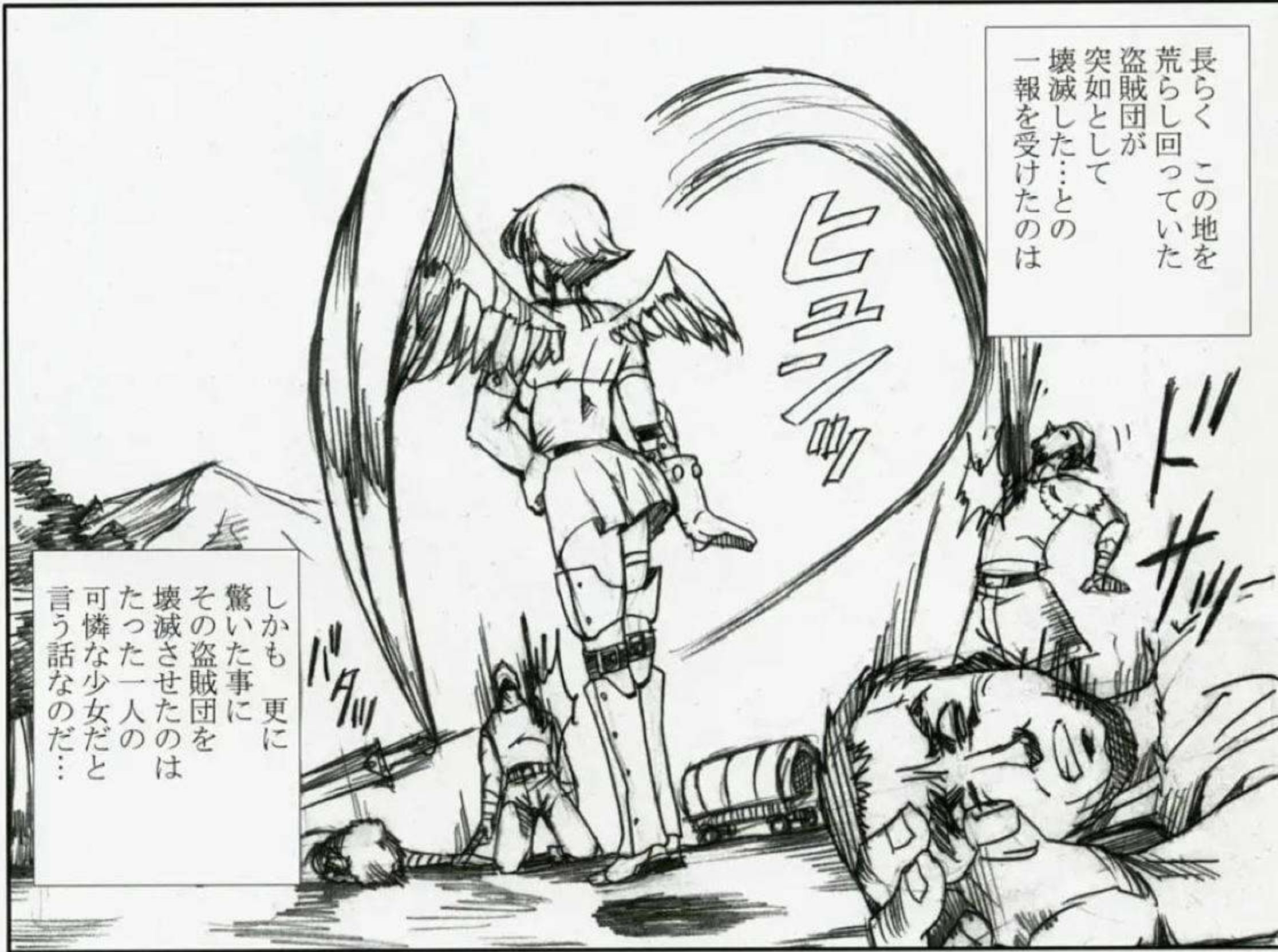
アカルズビカリ

アカレイヒカリ  
—獣欲姦獄ナナエ—

それは…長雨の季節  
が終り、久しぶりに  
日の光が差し込んだ  
そんなある日の  
出来事だった



長らく この地を  
荒らし回っていた  
盗賊団が  
突如として  
壊滅した…との  
一報を受けたのは



しかも 更に  
驚いた事に  
その盗賊団を  
壊滅させたのは  
たった一人の  
可憐な少女だと  
言う話なのだ…

その可憐な少女は  
光のドレスを  
身に纏い…  
その肩には  
美しき二枚の羽根…  
そう その御方は  
天使様だったのだ

「天使」…それは  
救いを求める我等に  
神が遣わし使者…  
我々を導きし  
至高の存在…  
純粹無垢なる  
天上の住人…



我は この地に  
天界の威光を  
知らしめる為  
使わされし  
天使ナナエル



天界に選ばれし  
者たちよ  
今日より  
この我に  
使えるがよい!

そう!  
天使様が  
この地に  
降臨  
なされたのだ!



我々は 諸手をあげ  
歓迎の意向を示した  
のだが それが大変な誤りだった事に  
スグに気づかされる  
事になる...



料理  
おそいのッ  
おそいのッ



ほら  
アンタは  
扇いでッ

そこ  
サボらない



はやく  
してよッ

ちよつと  
次の料理は  
まだなのッ？

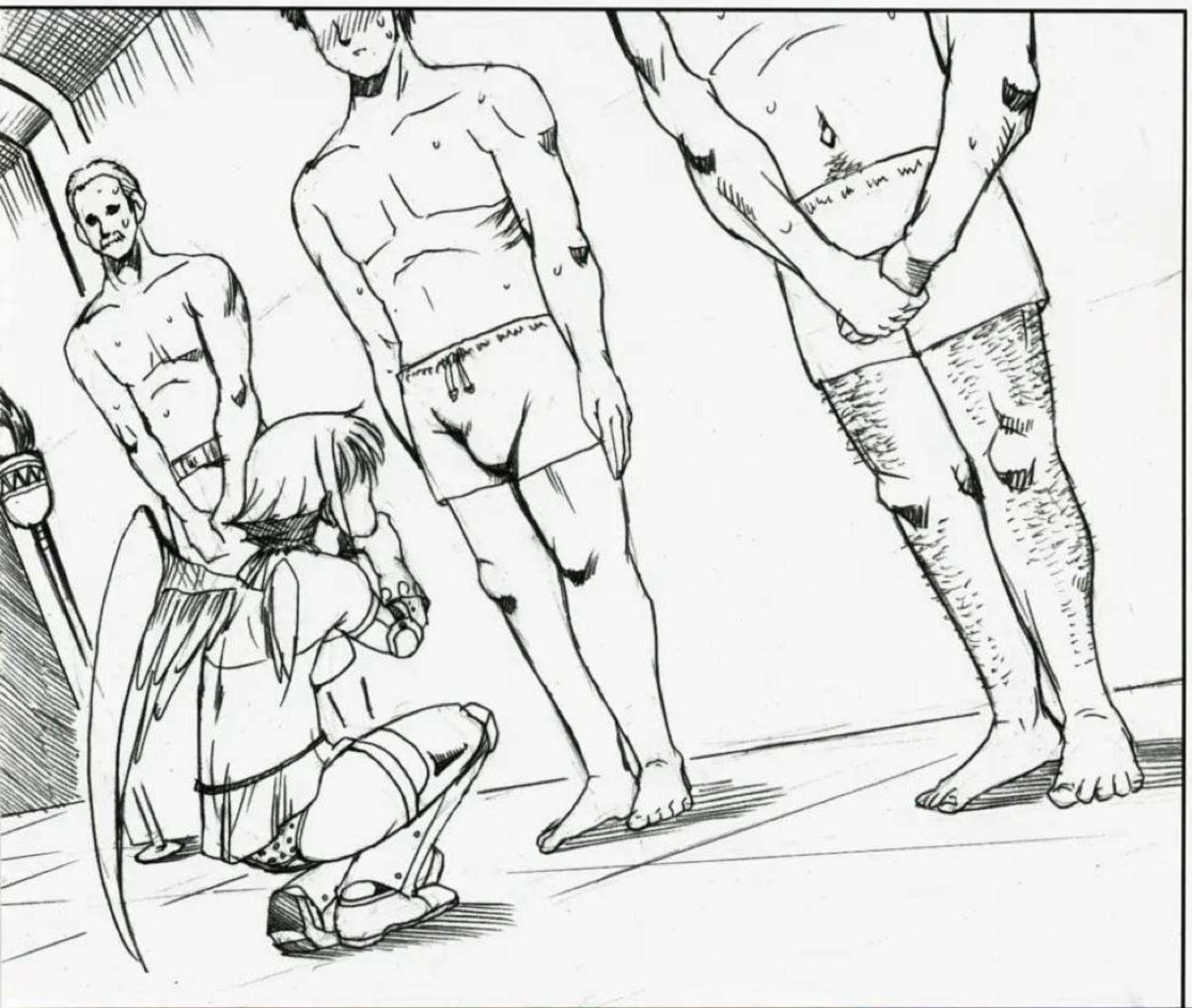


やだあ…  
何コレ  
超マズーイ



天使ナナエル様は  
この領館を占拠し  
天界の威光を  
振りかざしては  
好き勝手放題の毎日…

…ホント  
好き放題の  
毎日





全部ダメッ!  
求めるレベル  
じゃないのよ  
ねえ



ちよつと  
次の料理は  
まだなの?  
遅れ過ぎッ



次は?

:以上で  
領館の男子  
全員になります



申し訳ない  
のですが  
食材の方が  
もう…  
残りは越冬用の  
貯蔵分しか

ホント…  
気の利かない  
連中ね



じゃあ早く  
それ使って！  
この  
ナナエル様が  
お腹すいたって  
言ってるのッ

そもそも  
誰のお陰で  
この地の平和は  
守られている  
と思ってるのよ

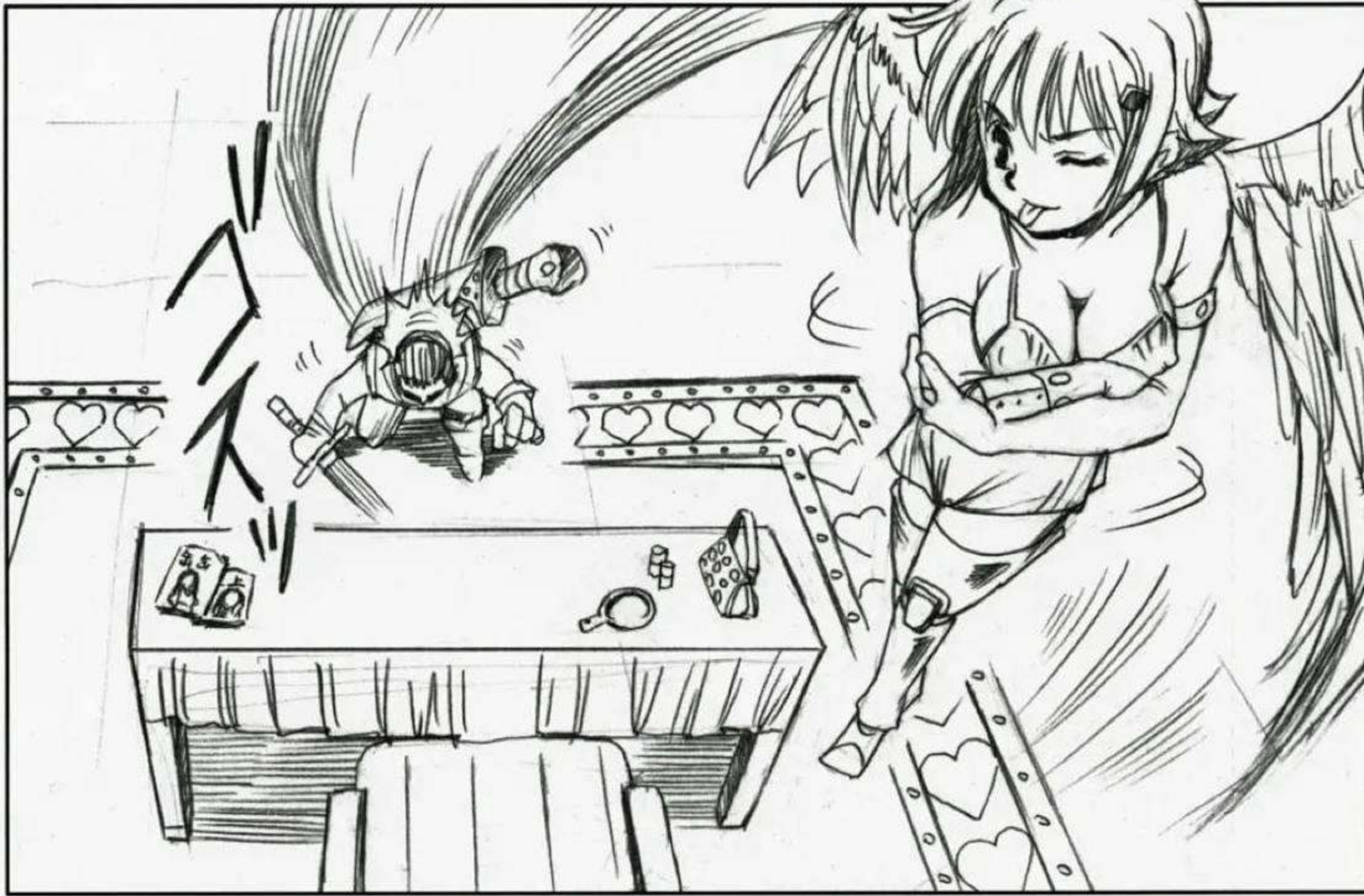


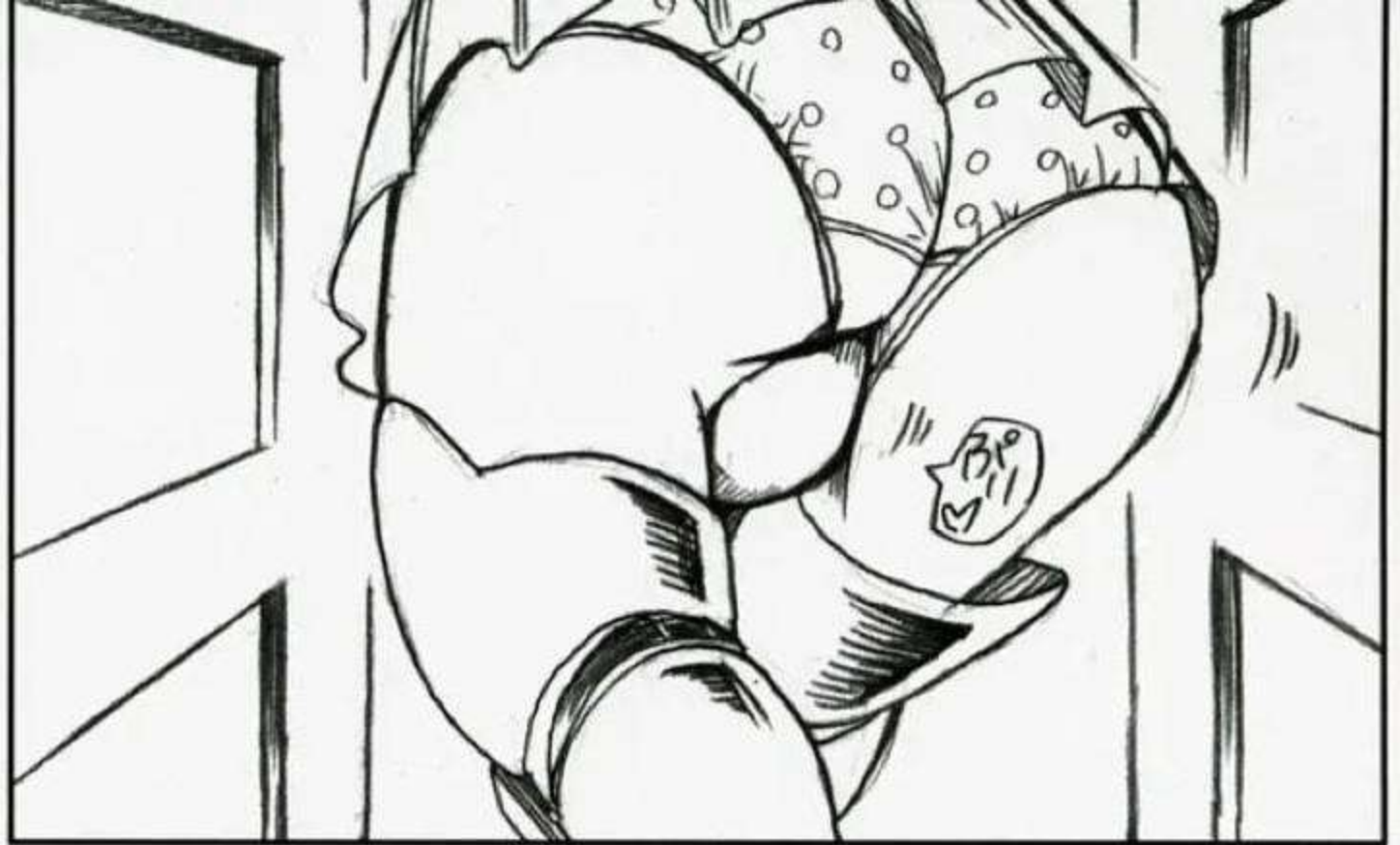
食糧は これが  
限界なのですッ  
これ以上は  
我々のみならず  
村人まで  
飢えてしまいます  
それに毎日 毎日  
好き放題…  
我々をコキ使うのみ  
なら まだしも  
男漁りまで  
はじめて…  
それが天使の行い  
なのですか？

いい加減に  
してくださいッ

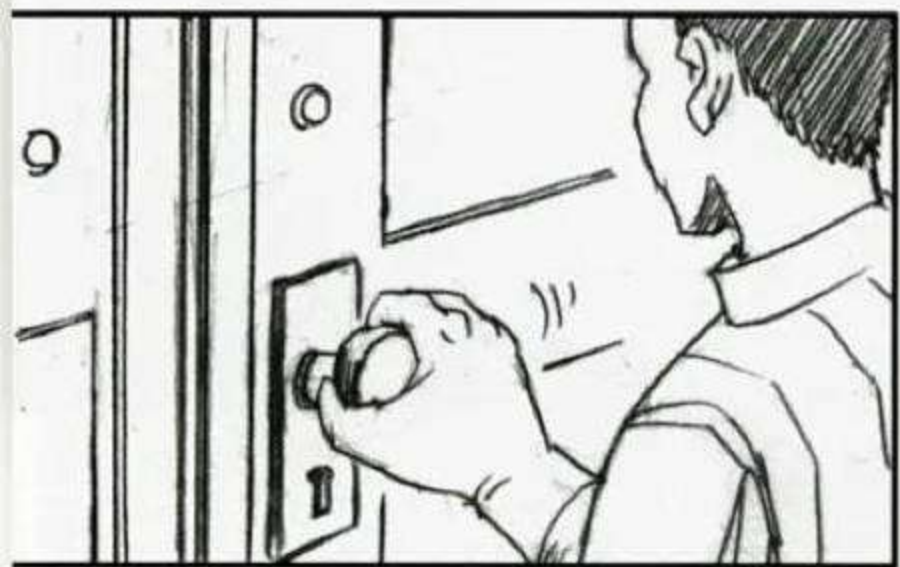
はあ…







一体なんなのだ  
あの天使はッ  
…ただの  
ワガママな小娘  
風情ではないかッ



神の使いと  
言えど…  
あの横暴さには

…領主様  
それは不敬です  
どうかお怒りを  
鎮められて

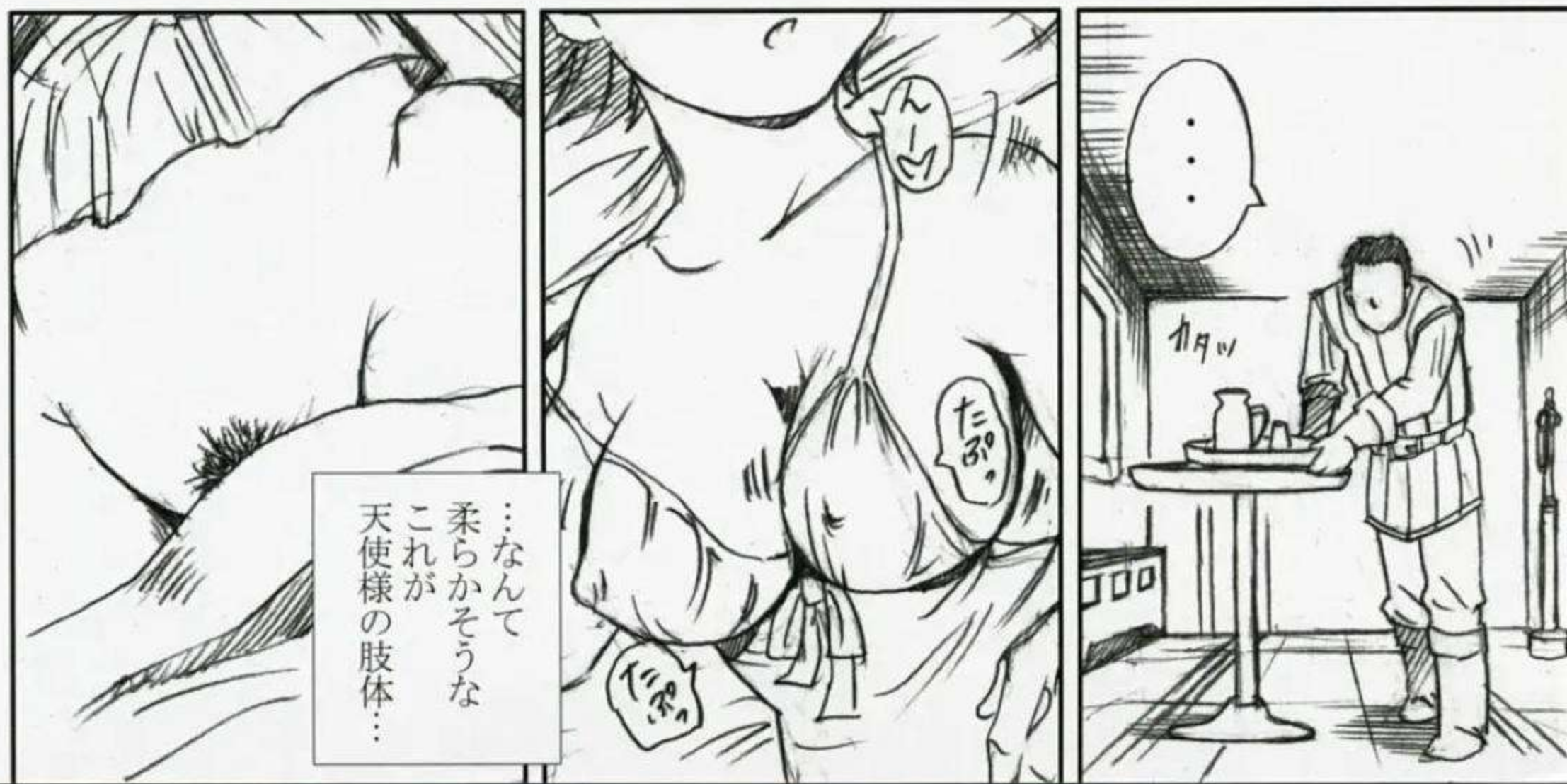


ナナエル様  
水を  
お持ちしました



さすがに  
もう我慢  
ならんッ

先程の蛮行…  
我が家臣が  
重傷を  
負わされた  
のだぞ







お怒りは  
ごもつともですが  
天界からの使者に  
意見するなど…

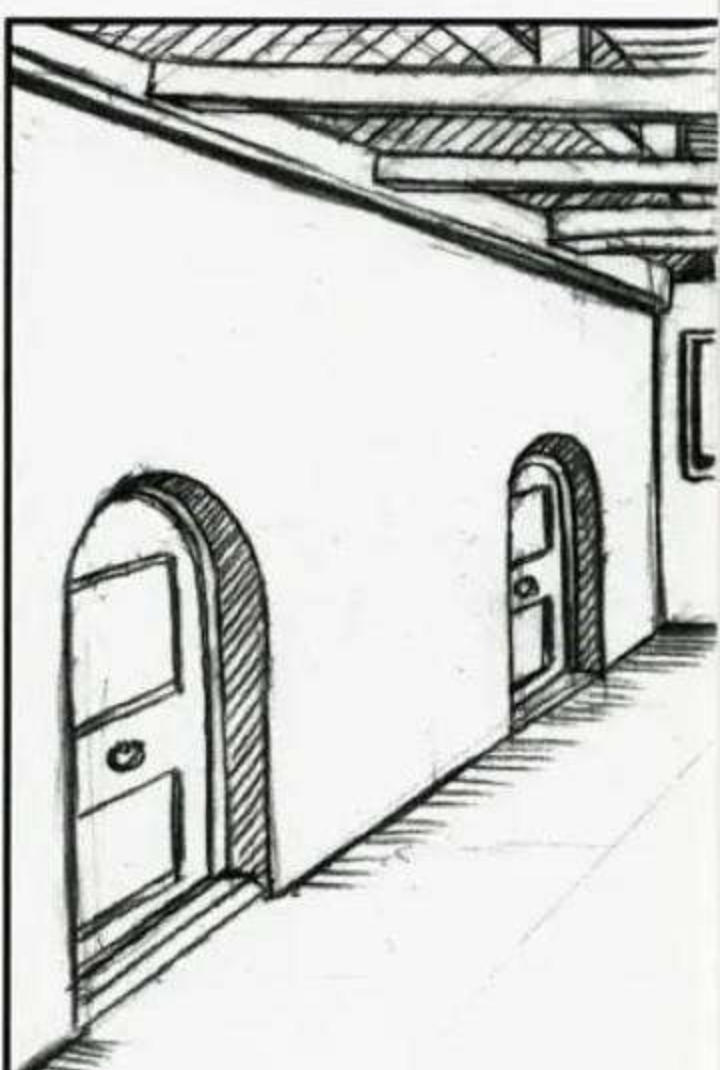
貴様に  
言われんでも  
わかつとるわ  
そんな事ッ！

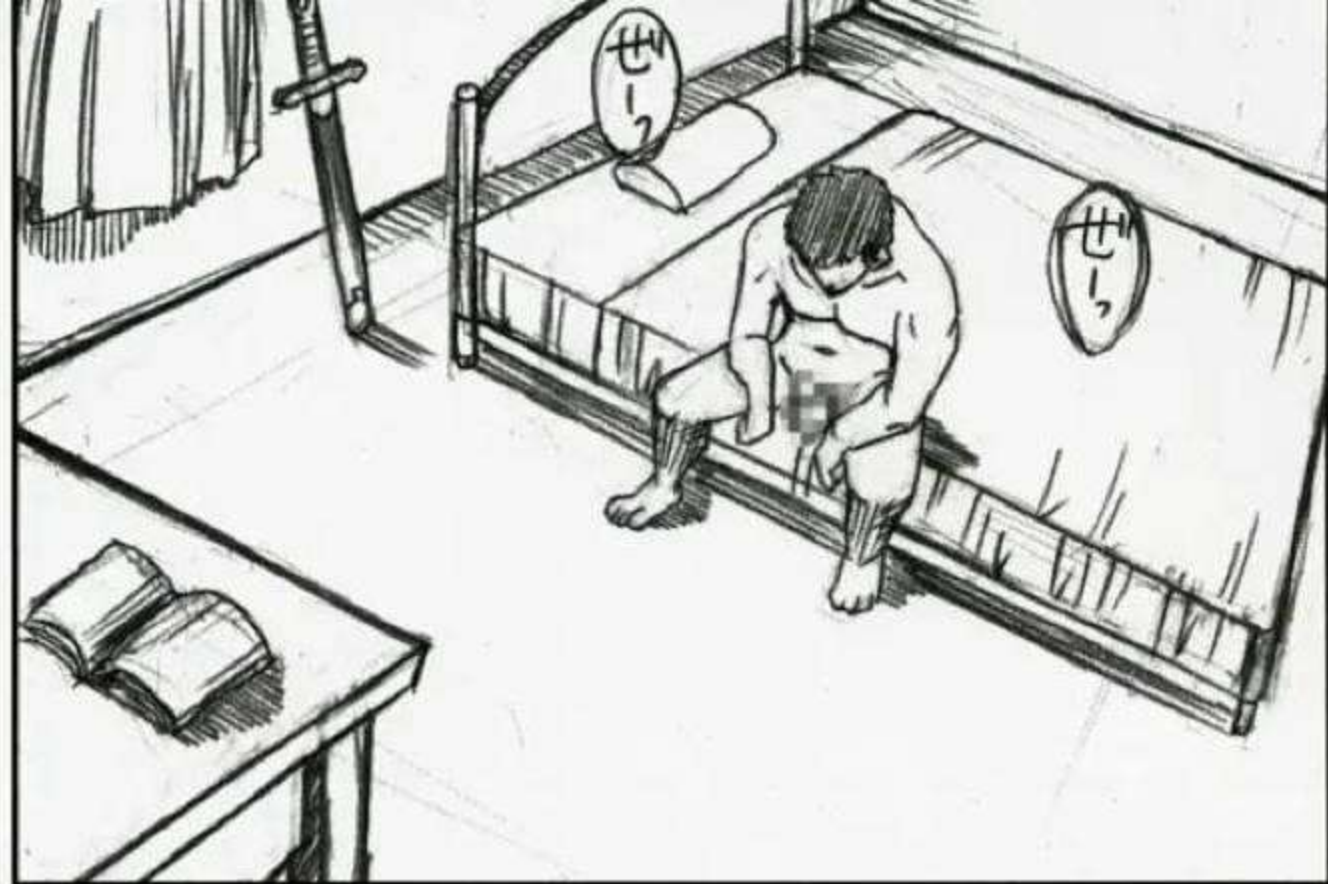


あれが天使の  
所業なのか？  
世の中  
狂っておるわッ



確かに…  
彼女の行動には  
目に余るものが  
あります

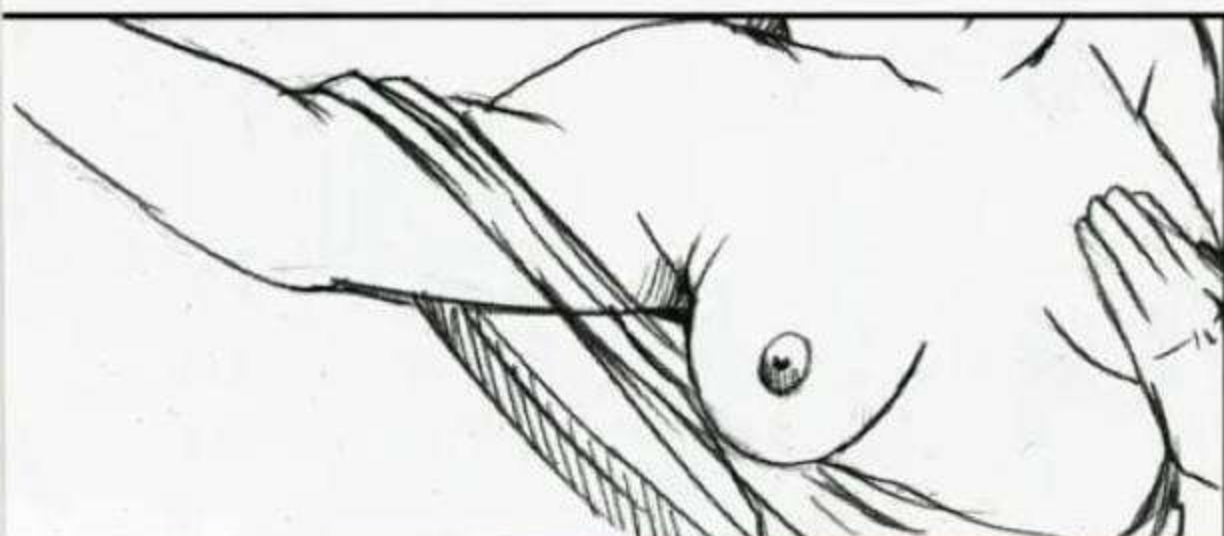




恐れ多くも、天使様に対して  
不純な気持ちを抱くなんて…  
そう…いつだって、オレは…



その教会の祭壇の  
脇に掲げられた  
一枚の絵画から  
目を離すことが  
出来なかった





その晩、教会に  
潜り込んで  
何の躊躇いもなく  
己の欲望を  
満たした…



その美しさに  
見惚れた…  
いや欲情した  
小さなオレは…



そうオレは、罪深き咎人  
…最低のクズ野郎なんだ



あなた様には  
直ちに  
この場から  
お引取り願いたい

…言葉通りの  
意味で  
ごさいます



ちよつと  
出て行けつて  
どういう事よ



ワタシ、結構  
ここの暮らし  
気に入ってるの

……  
イヤよ  
くる



そう…  
そっちが  
その気なら  
こっちも  
実力行使に  
出ちやうだけ

ガ  
キ  
リ



りん  
ッ

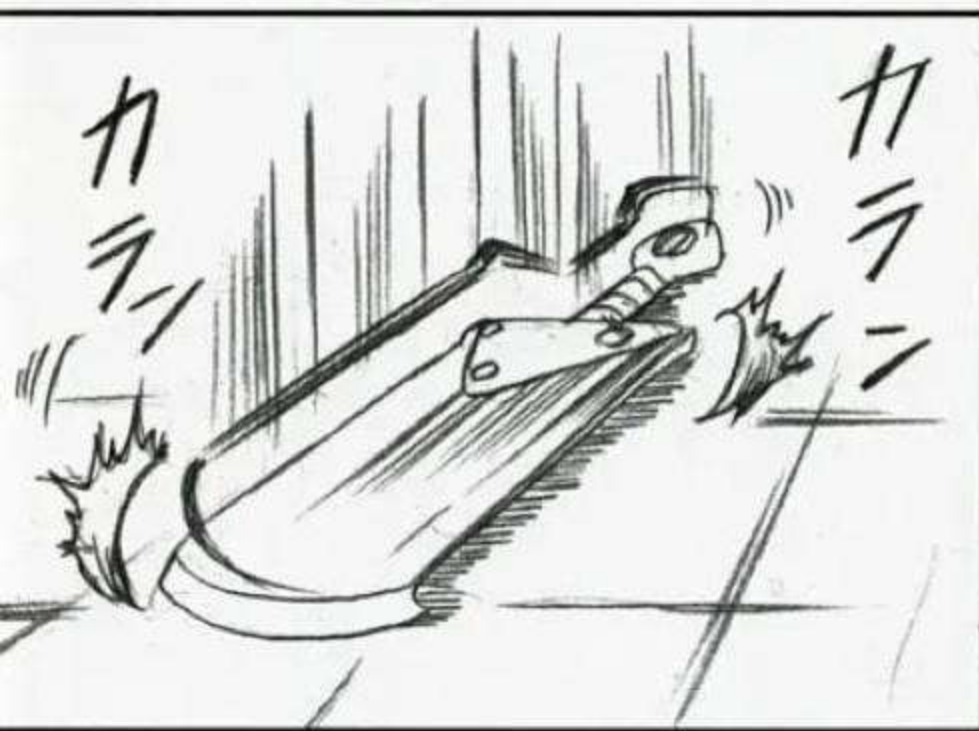


…



…  
仕方ない

者共ッ  
かかれ!



カラ  
ン

カラ  
ン



りん  
ッ

スタ  
ッ

ムダな  
ことをッ



…?  
?





夜警をしていた  
オレが呼び出された  
時には、全てが  
片付いた後だった…



きやあ  
ああー



…そこには  
無様に捕えられた  
麗しき天使様の  
姿があった



そう、好奇に駆られた  
男達の絡み手は  
天使様の秘部にも  
侵入せんとする  
勢이었다



輝く服は、はだけ…  
その自信に  
満ちた肢体が  
惜しげもなく  
人目に晒される…



ちくしよー  
離せッ

なんで  
念動力が  
使えないッ?



!!

お前は…  
刑罰執行天使  
ザギエル



僭越ながら  
あなたの力は  
ワタクシが封印させて  
いただきました



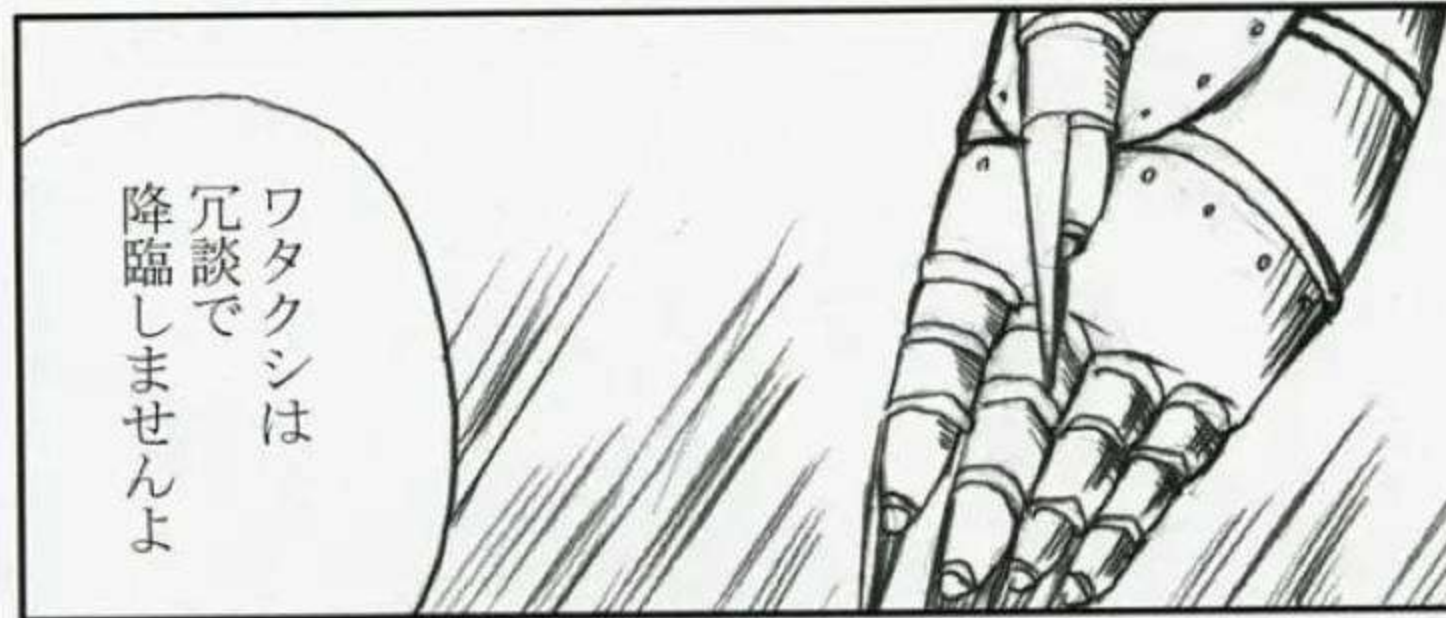
領主殿  
ワタクシの言いつけ通り  
よくやってくれました



悪い冗談は  
やめて  
はやく  
この拘束を  
解いてよ



アンタの仕業  
だったのね



シヤキーン

ワタクシは  
冗談で  
降臨しませんよ



!!

ちよっと  
なんのつもりよ



?!



天界刑法第28条  
天使ノ身デ或リナガラ  
淫蕩ニ耽ルモノ  
コレヲ処罰スル



まさか心当たりが  
ないとも  
・・・？



あつ



天界刑法第8条  
神ヲ崇拜スル  
善良ナルモノヲ  
虐スルモノ  
コレヲ処罰スル

おおい  
これは  
どういう事  
なんだ？

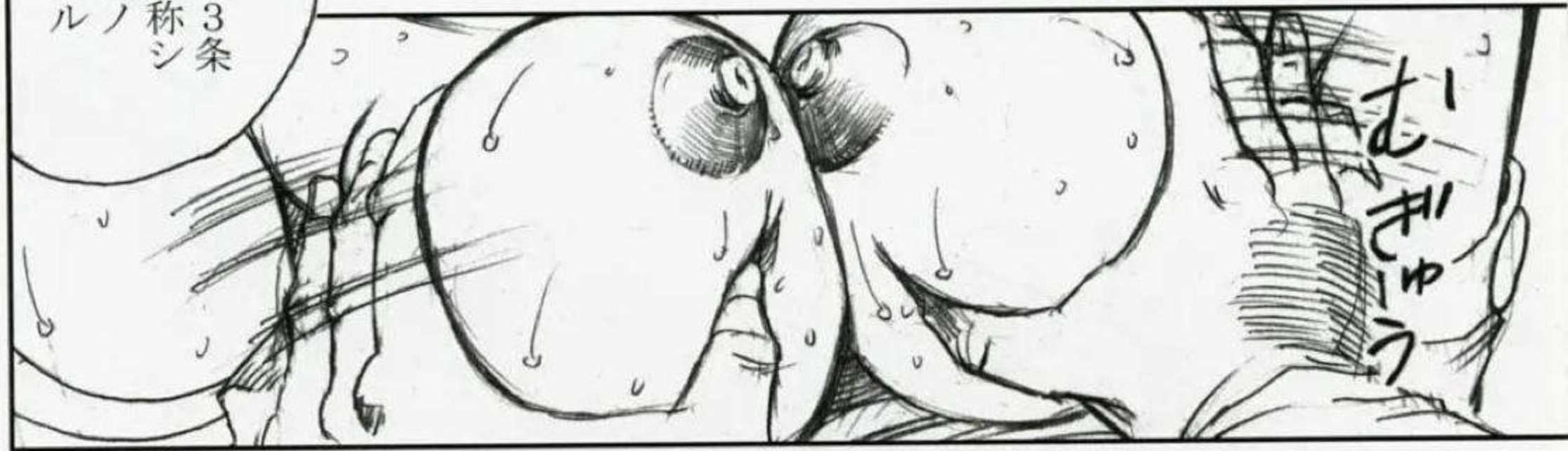
ナナエル様を  
拘束する  
だけじゃ...？

ホカーン





天界刑法第23条  
神ノ威光ヲ詐称シ  
振リカザスモノ  
コレヲ処罰スル



…特に  
最後の違反は  
許しがたい







…その通り

アナタに下された  
処分…それは  
姦獄刑



…ま  
まさか

た30  
た30  
♡♡



アナタは 自らが  
危害を加えた相手に  
奉仕従属する事で

それまでの罪と  
心の穢れを  
浄化しなければ  
なりません

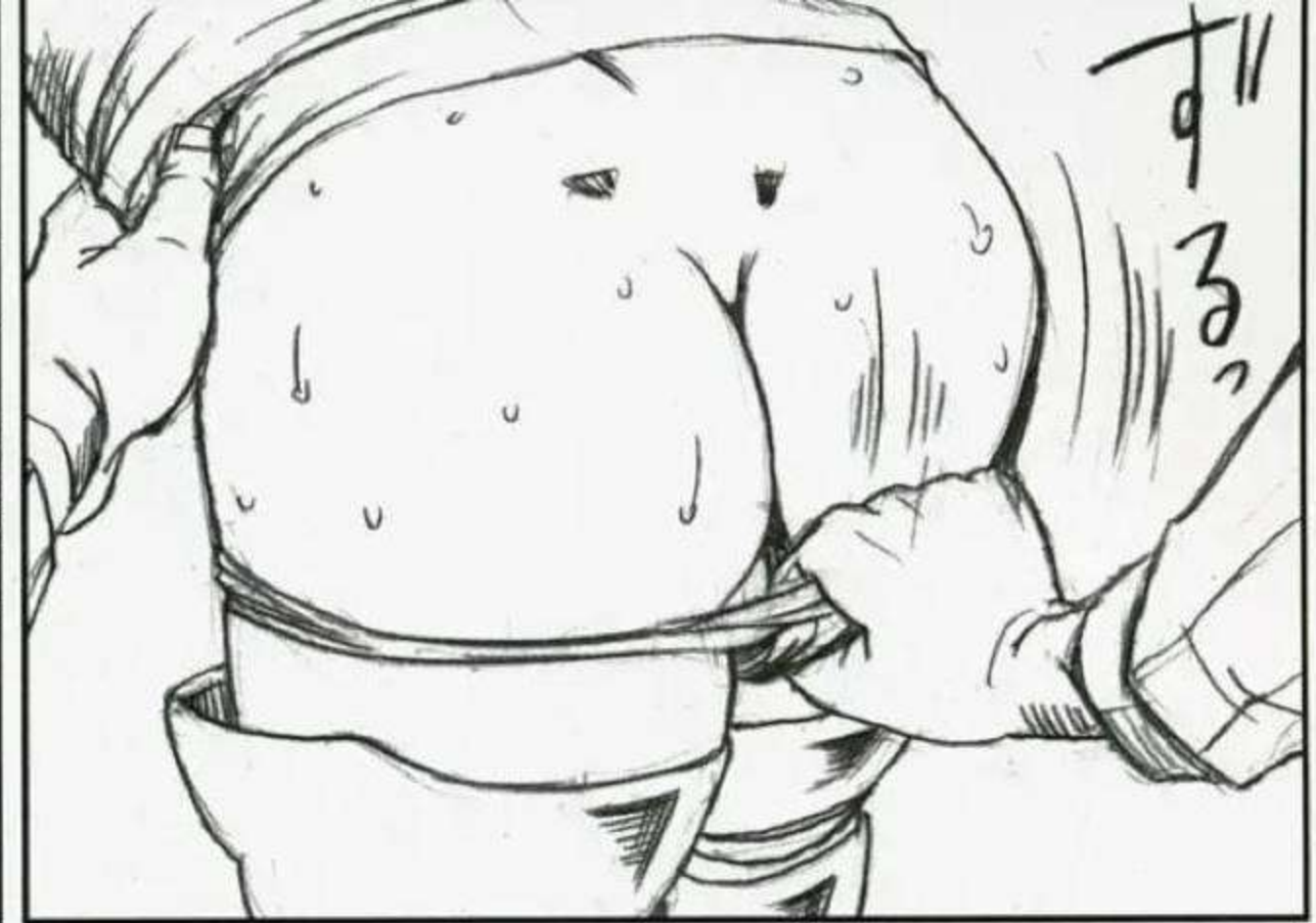
つまり アナタは  
これからこの者達の  
慰め者になり  
性奉仕する  
義務があります



…  
…  
それって  
まさか



あッ?



ッ  
ッ  
ッ



つまり、この者は  
もはや天使でも  
なんでもない  
ただの罪人…哀れに  
マ〇コをヒクつかせた  
ブタ同然なのです

なッ

ッ

ッ  
ッ



?!!

ッ  
ッ

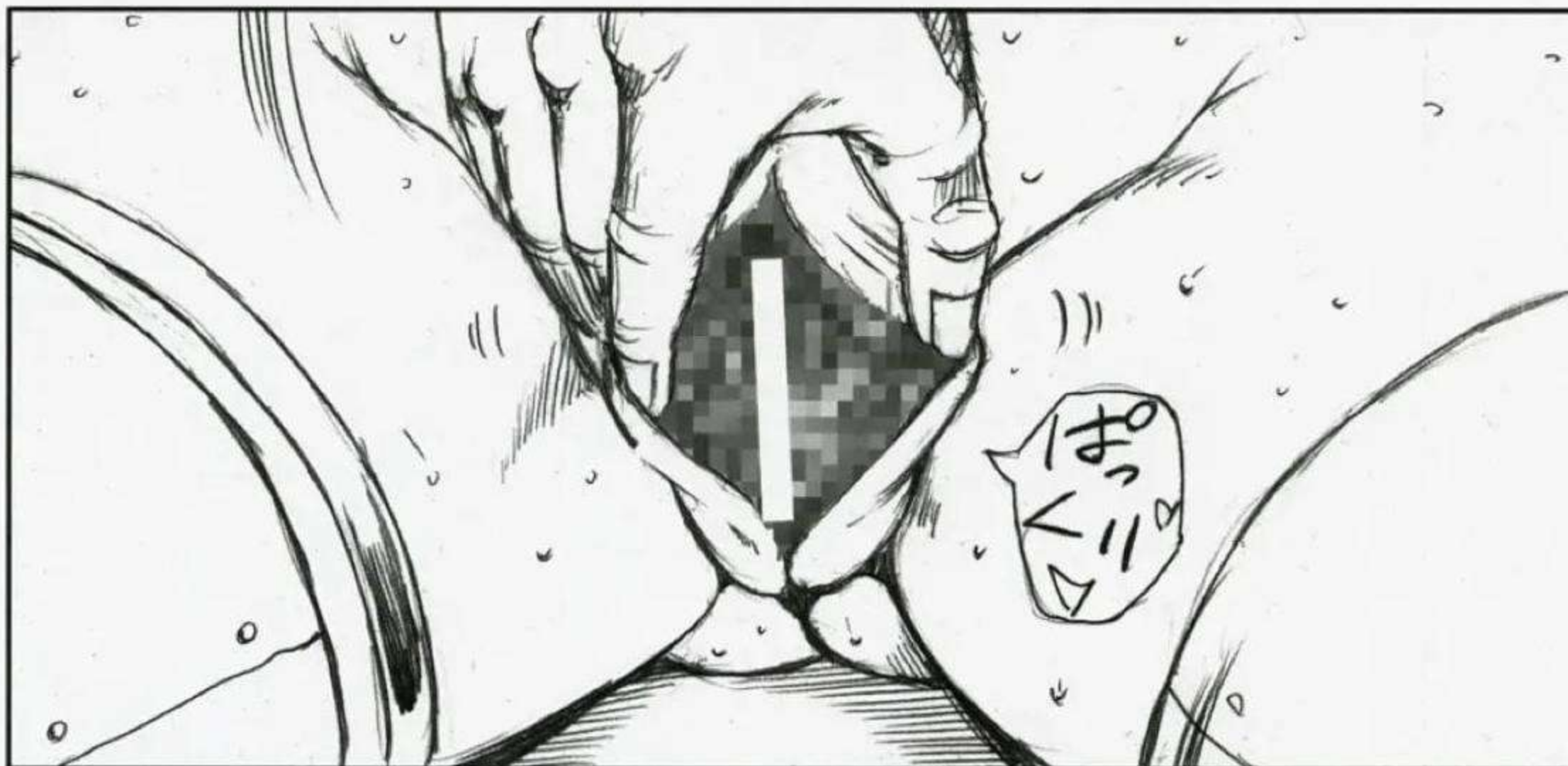




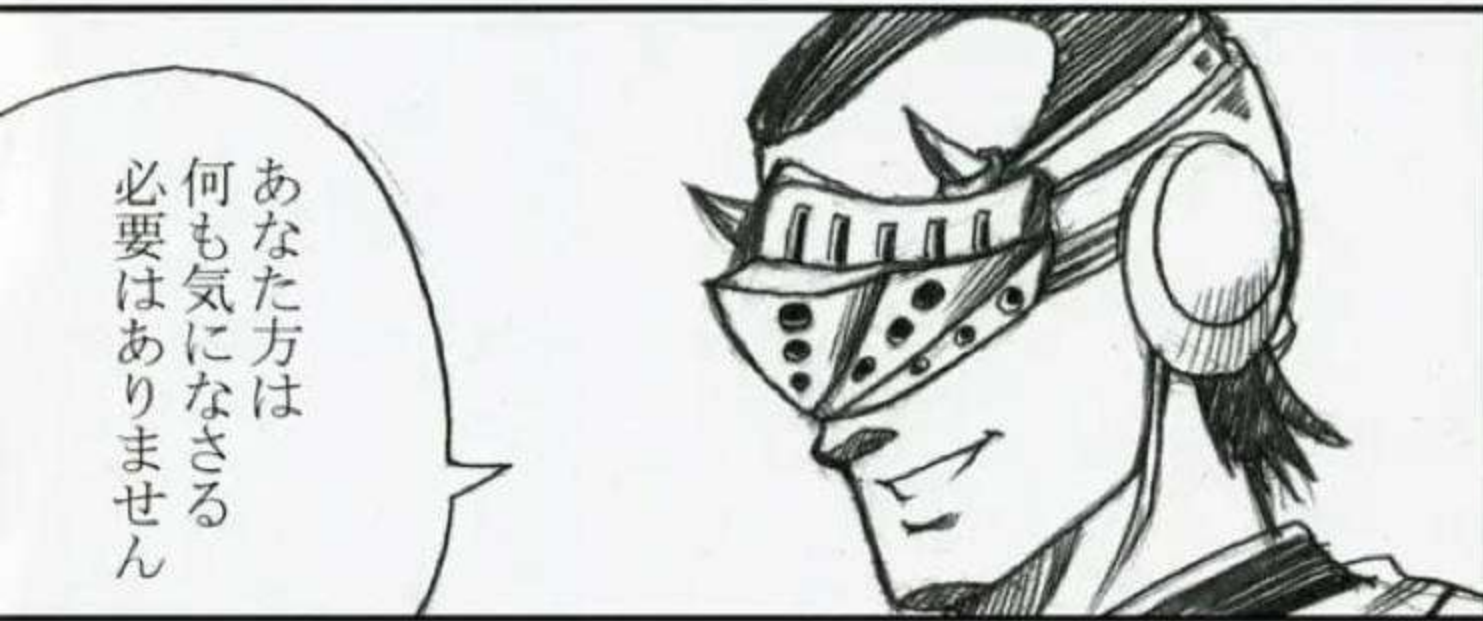
さあ…  
どなたから  
この翼を纏いし  
卑しきブタマ○コを  
お騨りに  
なられますか？

かちかち…

すすす



オレ達が、あのナナエル様を…  
天使様のオマ○コを騨りモノにする？！



それにこの者は…  
刑が確定した時点で  
もはや天使では  
ありません

今や、人間以下…  
墮天使以下の存在  
淫靡な肉体で  
男を惑わすブタ…  
肉家畜に過ぎません



ほら、その家畜が  
あなた方に  
犯される瞬間を  
涎を垂らして  
待っていますよ



キッ

すっすっ

ほっほっ



ほっほっ



…よよし  
オレは  
やるぜツ  
このブタ野郎に  
思い知らせ  
やろ…



オ…  
オレもだ

ニイツ

オレもツ!

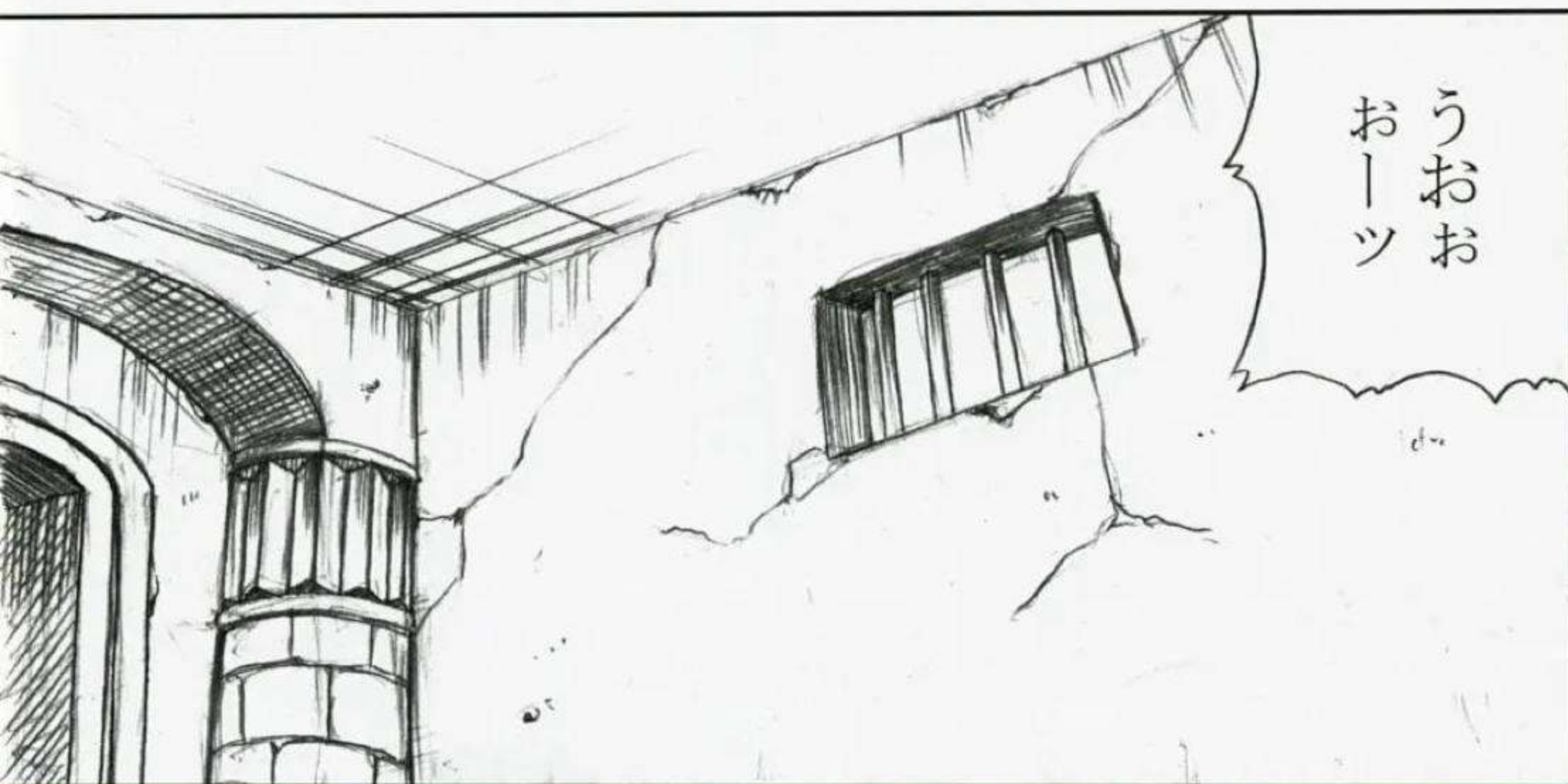


…突然の出来事に  
感覚が麻痺していた  
…次から次へと  
手を上げる者が  
後を絶えなかった

これから、天使様を  
蹴りモノにする…  
そんな狂気と劣情を  
目前にして、みな  
自分を見失っていた

…そして、オレもまた  
そんな狂気に犯されたモノの一人だった…。

そうオレは、やはり罪深き咎人…  
最低のクズ野郎でしかなかった。



うおお  
おーツ



カハハハハ

これが…  
天使様の  
オマ○コ



これが…

天使様の…



はー

まー

ハハ

ハハ





天使様も、大切な秘部を  
男の獣欲から守ろうと  
必死に抵抗するが  
力では敵うハズもない



男達の指や目が  
本能の赴くまま  
天使様の秘部を  
無残に虜り…  
変形させる



剥けッ  
剥けッ  
それッ



…配下の騎士の  
あまりの痴態ぶりに  
さすがに、領主様は  
困惑してらっしゃる  
様だった



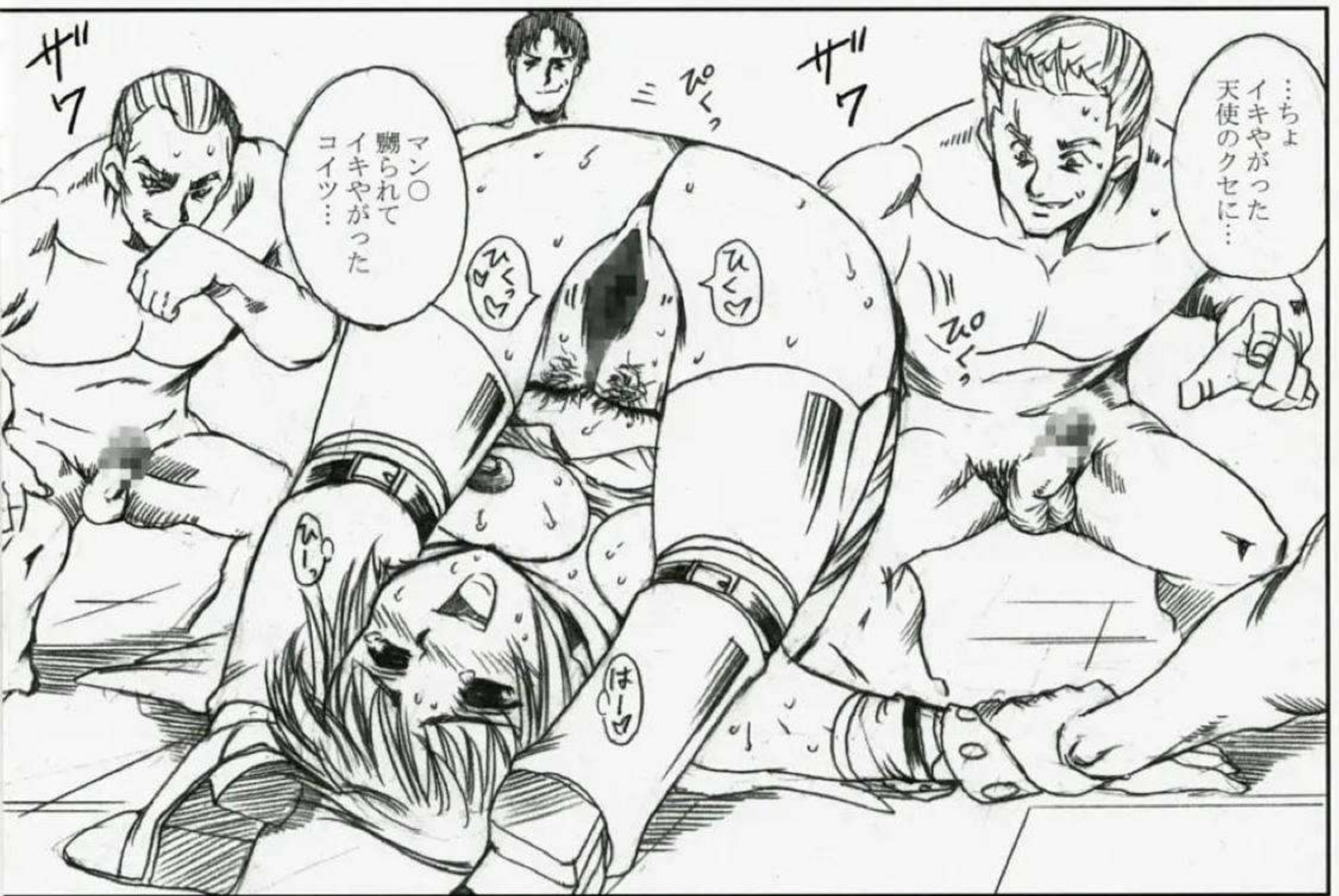
なんだ？  
もうビンビンに  
勃起して  
やがるぜ

ドキッ



これが天使の  
ク○トリス！

…そして  
止まる事のない  
男達の獣欲は  
とうとう天使様の  
淫核まで無残に  
剥き出し辱める







いやあ：  
そんなの  
絶対ダメッ



そろそろ  
その小生意気な  
オ○ンコに  
刑罰を与えて  
やるぜッ



：物欲しそうな  
顔で、今更  
そう言われてもな

：孕ませて  
いいんだよな？  
天使様を：

ホソ

ホソ

：刑罰  
なんだから  
仕方ないよな



ぬ  
1310  
♡1310♡  
っ

そろよッ



：そして、ついに  
狂気に駆られた  
野獣のイチモツが  
天使様の秘部を  
抉ろうと咆哮を  
あげるッ！



ーッ!!



己の肉欲に屈服した  
ケダモノの肉棒が  
天使様の清らかな  
秘部を容赦なく  
抉った瞬間：

その場にいる  
オレ達全員の：  
最後の理性は  
あっけなく  
吹き飛んだ

くううーッ!  
これが天使様の  
オマ○コオオツ



「天使様が陵辱される」  
…その異様な光景を  
みな、背徳と好奇の  
入り混じった狂気の  
眼差しで凝視していた



天使様が、そう叫んでも  
止めようとする者は  
誰もいなかった…  
そこにいるのは、最早  
獣欲に駆られたケダモノの  
群れでしかなかった…



くうううう  
ううううう  
ううううう



…ふう  
信じられないぜ  
天使様の  
オ○ンコに  
オレの精液が

VINO

VINO



いやあーッ  
はやく抜いて

このままじゃ  
孕んじゃう  
下等生物  
孕んじゃうッ

ふん

ふん

VINO

天使様の淫唇から  
したたり落ちる  
悦楽の征服痕が  
この狂気の現実を  
物語っていた…



その瞬間、誰もが  
自分も、あの淫腔に  
射精したいと…  
天使様を陵辱したい  
衝動に駆られた…



よ…よし  
次はオレだッ



ひいいい…  
射精されちゃった…  
このナナエル様の  
神聖なオマ○コに  
下等生物の精液があ

いや  
オレの番だッ

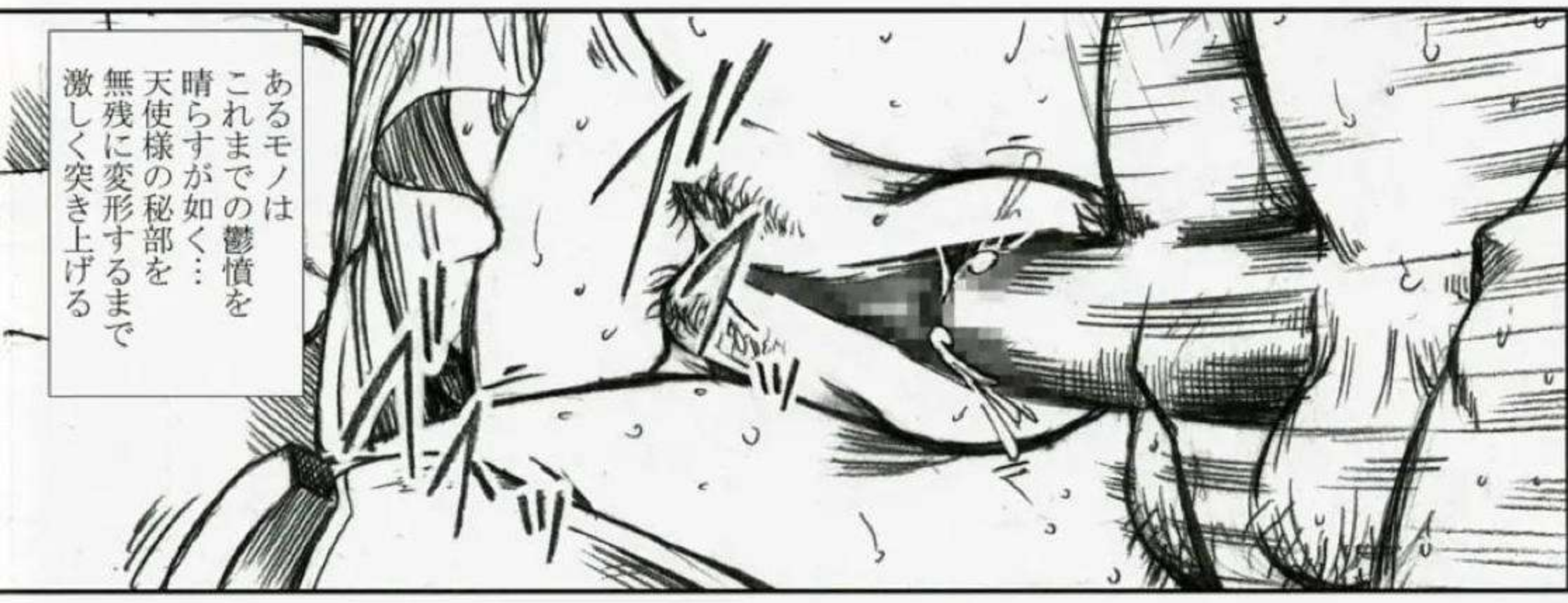
日頃、善良だった  
騎士達が…オレの仲間が  
次々に狂気の中に  
埋没していった  
…そこに罪の意識など  
もう何もなかった…



そしてオレ達は  
己が獣欲に  
支配されるままに  
思い思いに  
天使様の肢体を  
弄び始めた



あるモノは  
これまでの鬱憤を  
晴らすが如く…  
天使様の秘部を  
無残に変形するまで  
激しく突き上げる



まさか…  
あの礼儀知らずな  
マ○コを、思う存分  
決れる日が来るとは…  
どんな気分だ  
ナナエルちゃん





またあるモノは  
その豊満さと幼さを  
併せ持つ、天上界の  
至福の肢体を  
賜り尽くさんとする...



またあるモノは  
天使様を、純粹に  
獣欲の捌け口として  
ブタの性交の様に  
乱暴に、その淫肉を  
賜り尽くさんとする...

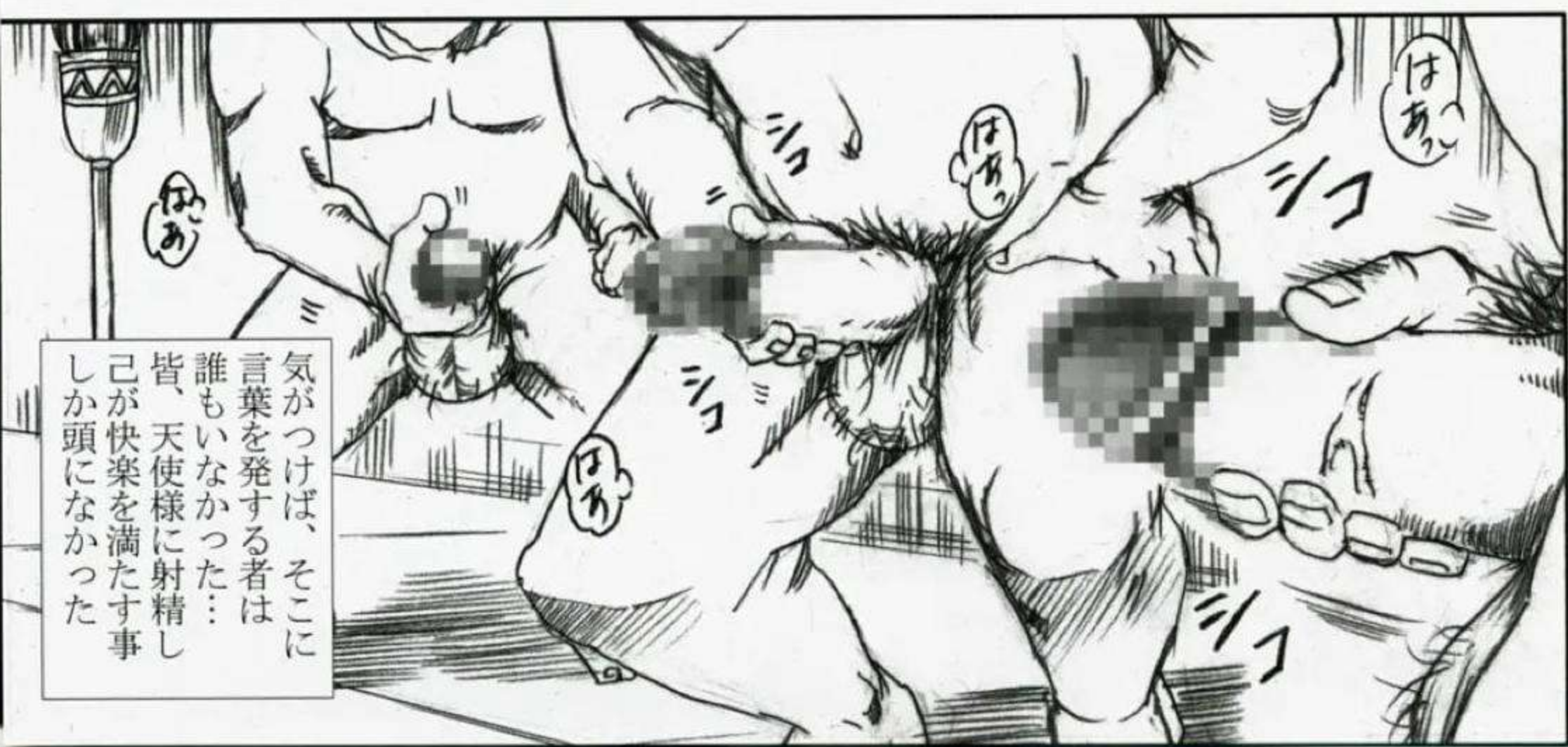
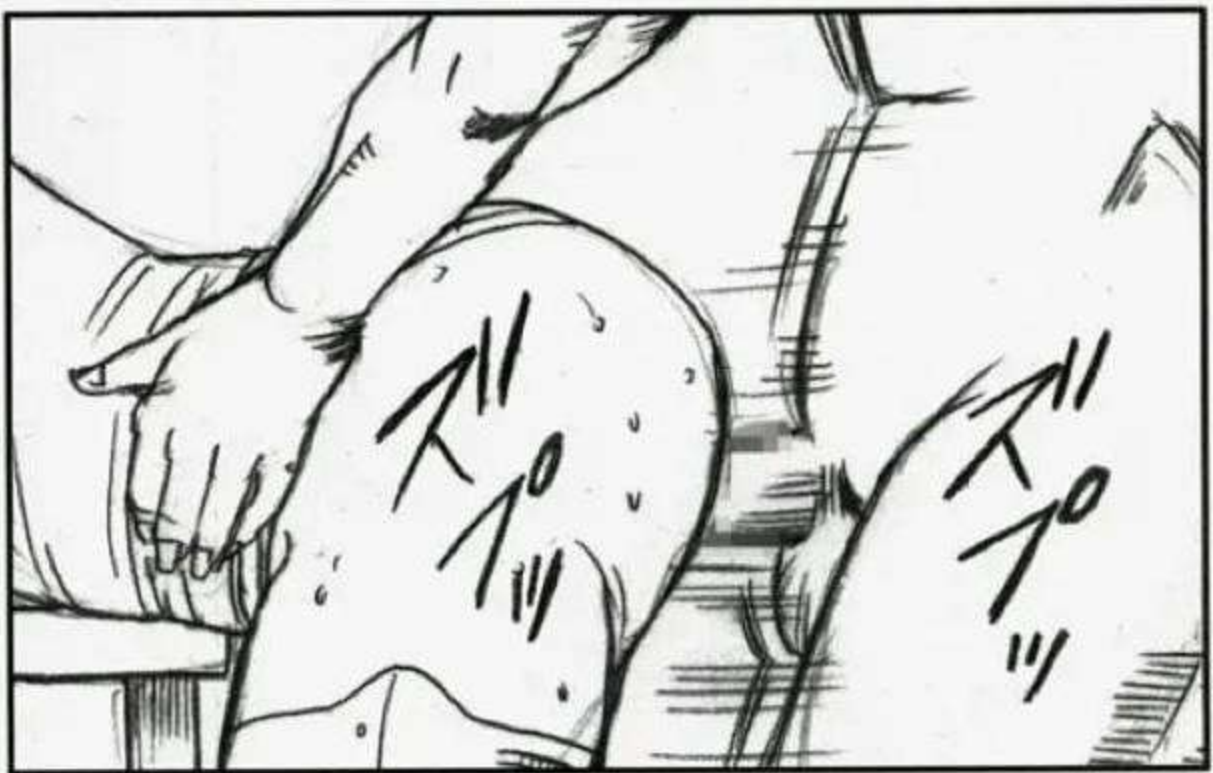
は！

獣の様に荒々しく  
醜く犯し続ける…  
子供じみたパンツを  
わざわざ穿かせ  
己の劣情を煽る

いひひ…  
オレ、天使の  
水玉パンツ  
犯してるッ!

ぽん

ぽん  
ぽん



気がつけば、そこに  
言葉を発する者は  
誰もいなかった…  
皆、天使様に射精し  
己が快楽を満たす事  
しか頭になかった



：そして  
薄汚れた欲望が  
生臭い精液が  
天使様に容赦なく  
襲い掛かる



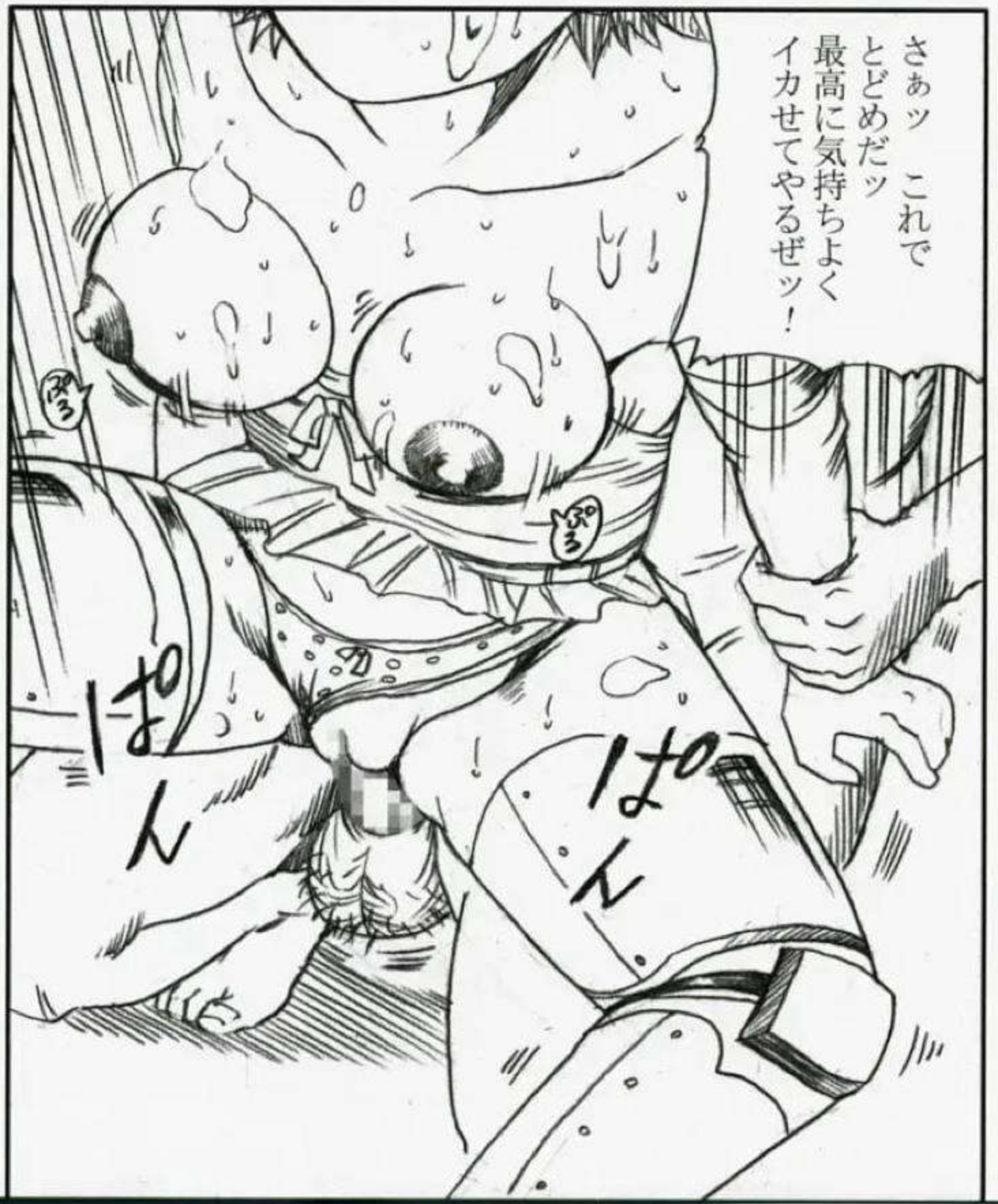
そう、まさに：  
天使様の全てを  
犯し尽くさん  
とする勢いだった



困惑する領主様を  
尻目にして…  
狂気の宴は  
さらに深みへと  
沈んでいく…

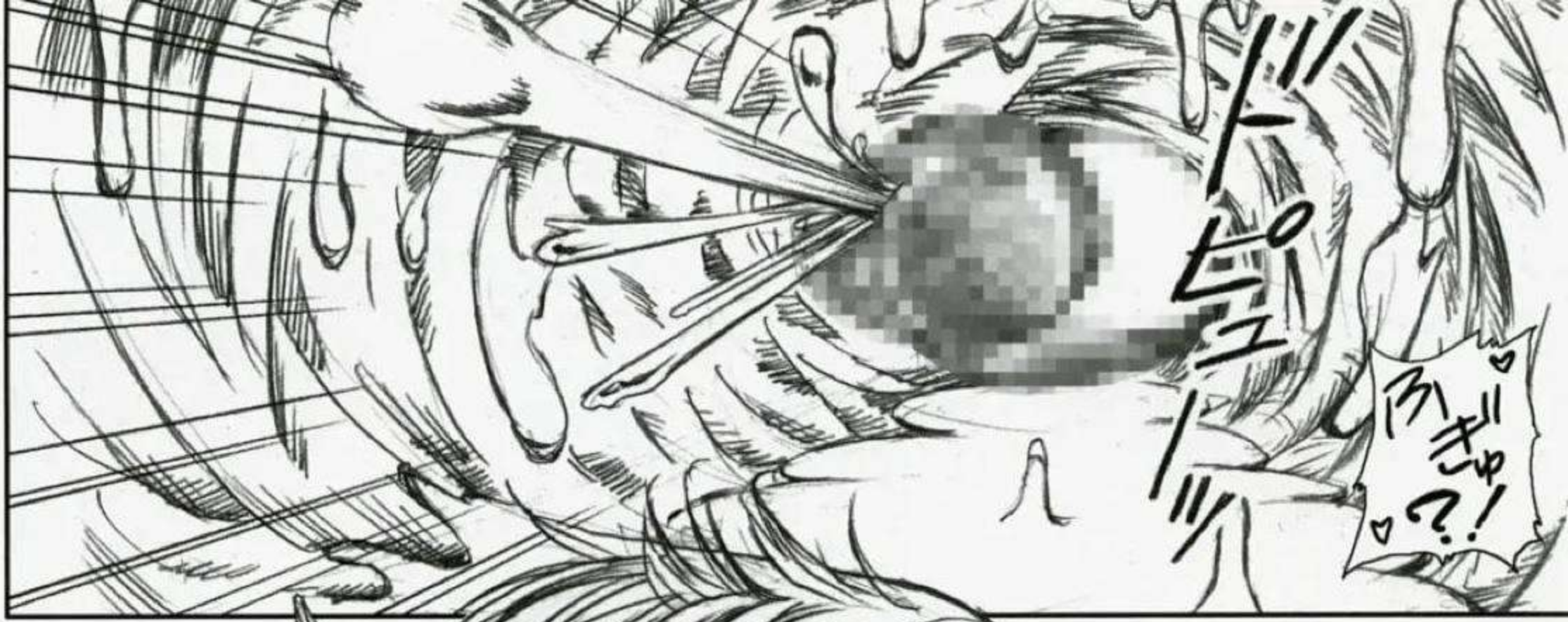


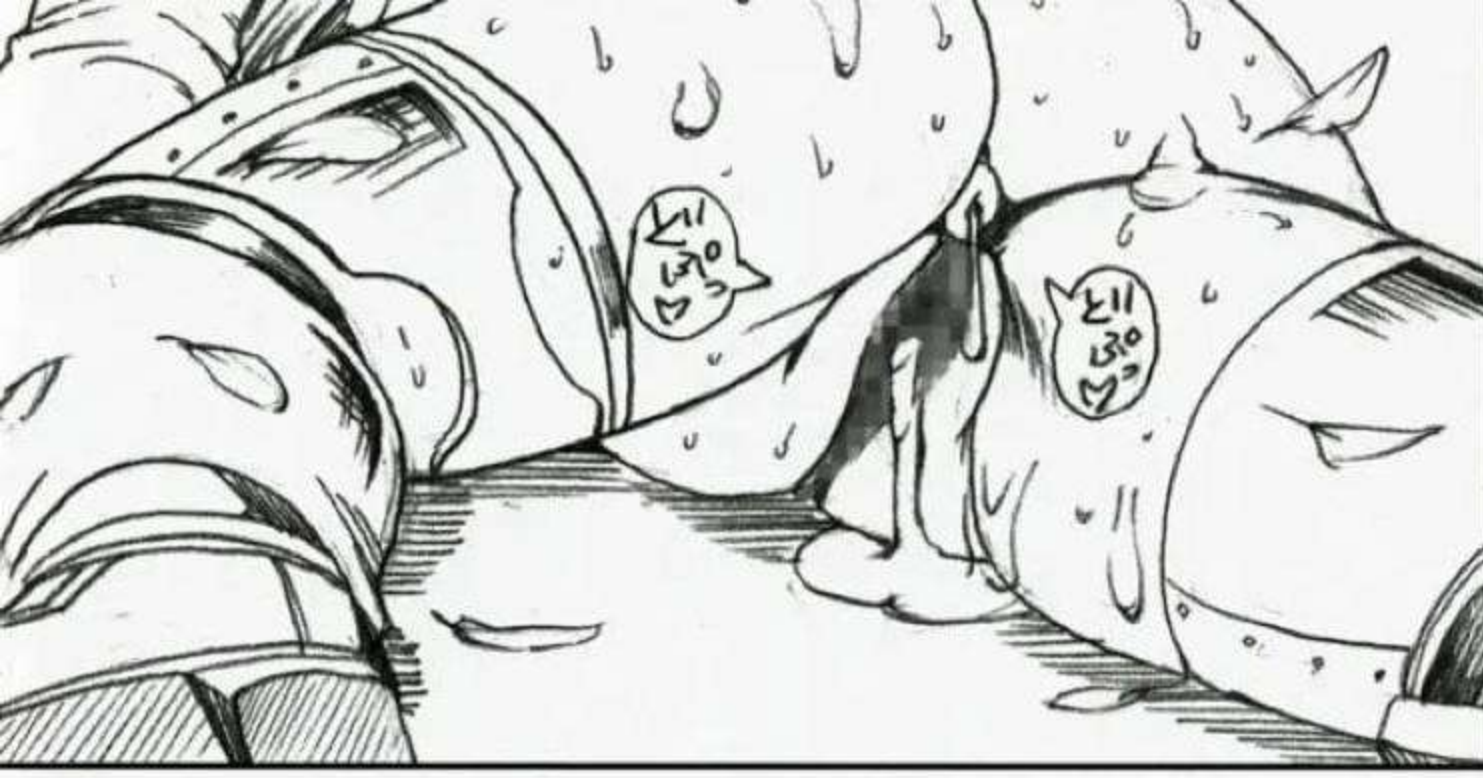
さあッ これで  
とどめだッ  
最高に気持ちよく  
イカせてやるぜッ！

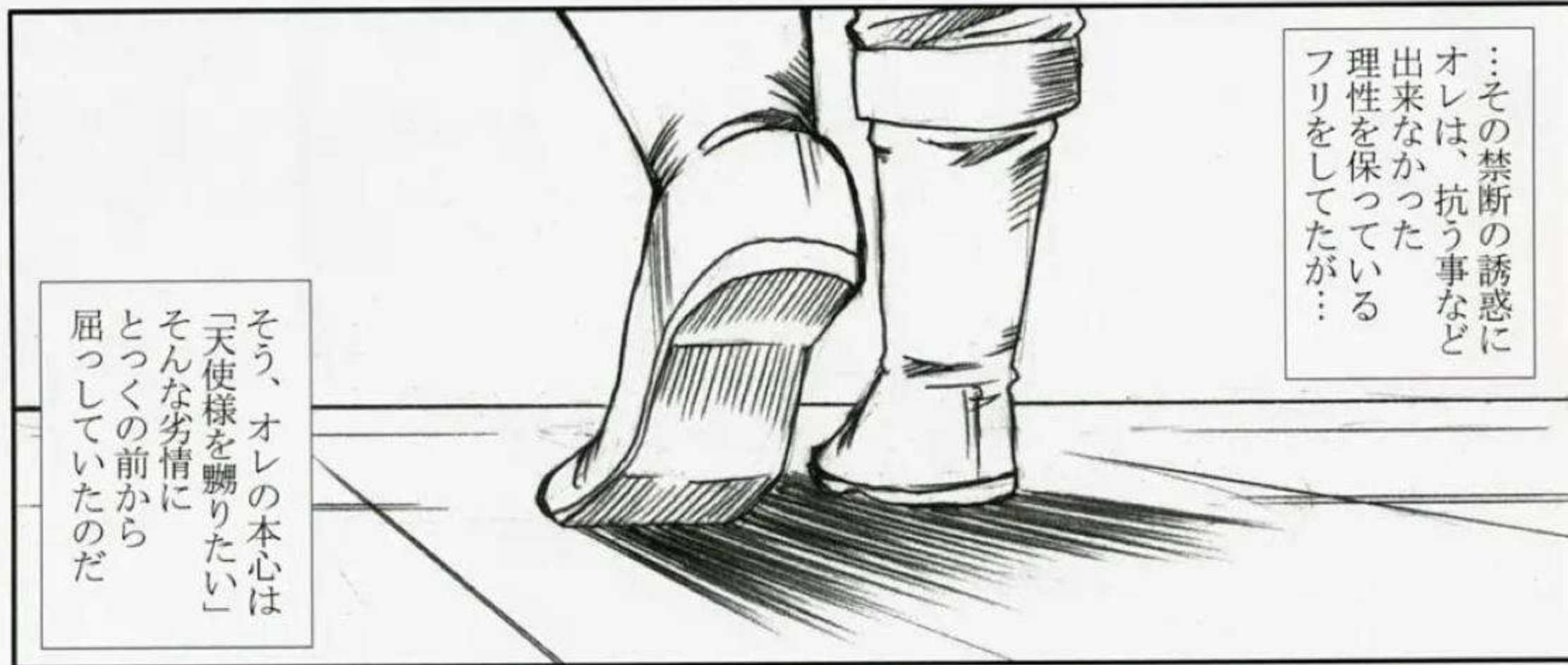


…ふざけるなッ  
誰が、お前達の  
粗末なチ○コで  
イクものかッ











これまでも同様に  
そのプタを蹴り  
犯すだけでは  
芸がありませんし



アナタは  
こちらに

…いやなに  
少し趣向を  
変えてみよう  
と思っ  
て



…なにより  
あろう事か  
このメスプタは  
犯されて  
感じている様子

これでは  
懲罰に  
なりません



ところでアナタ  
この液体の事を  
ご存知ですか？

？



まあ、存じないのも  
無理はありません：  
これは「聖乳」と  
呼ばれる天界の  
神聖なる聖水です

これは、天使に  
試練を課す際に  
与えられるモノで：  
聖乳を与えられた天使は  
それをこぼさずに、終日  
生活する事を、試練として  
義務付けられます

見事、その試練を  
やり遂げれば  
その者は、一人前の  
天使として  
認められるのですが



万が一にも「聖乳」を  
こぼしてしまった場合…  
その者は、罪に問われ  
定められた罰を  
受ける事になります



その罰とは  
...



…そう、例えどこに  
こぼしたとしても  
それを自分で舐め取る…  
体内に取り込まなければ  
ならないのです





それは罪に問われ  
現在、メスブタ扱い  
されている  
大使でも同じ…

罪が浄化した後に  
また天使に戻りたい  
のであればね



ピン…



そして  
更に…



と言う事は  
つまり…



よろしい  
飲みましたね

実は、「聖乳」は  
人間の体内に  
取り込まれると…  
瞬時に血液を循環して  
精液として  
生成されます





粗末なイチモツだと  
指で弾いた肉棒を  
喜ばせるために  
射精させるために  
必死で、愛撫し  
奉仕するッ

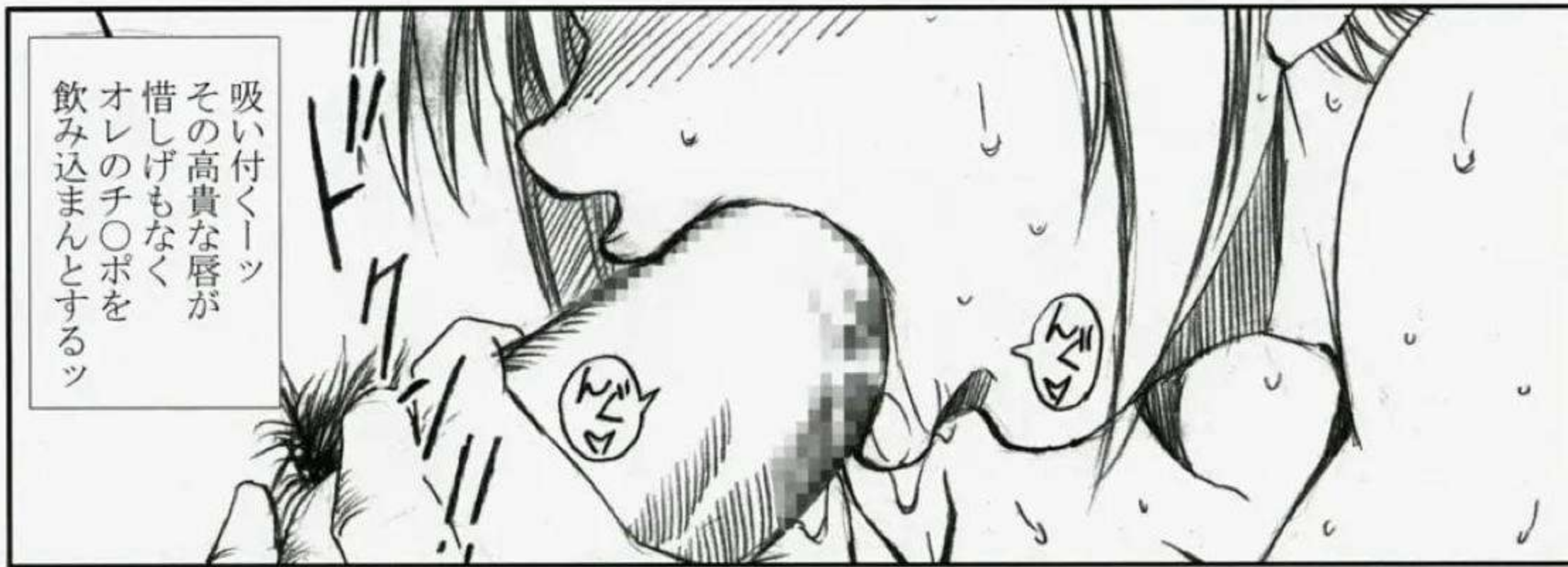
…そう  
ナナエル様は  
「聖乳」を  
搾り取ろうと  
懸命に  
オレの肉棒を…







それは異様な  
体験だった…  
天使様が  
オレの精液を貪り  
搾り取ろうとする



吸い付くーッ  
その高貴な唇が  
惜しげもなく  
オレのチ○ポを  
飲み込まんとするッ



天使様の唇が…  
オレの精液全てを  
搾り取ろうと奏でる  
天上の悦楽が  
全身を駆け抜けるッ

ナナエル  
お見事です  
よく頑張  
りましたね

ですが、まだ  
彼の体内には  
「聖乳」が  
残っていますよ

さあ…その「聖乳」も  
搾り取ってあげなさい  
アナタのその卑しく  
罪深きオ○ンコで



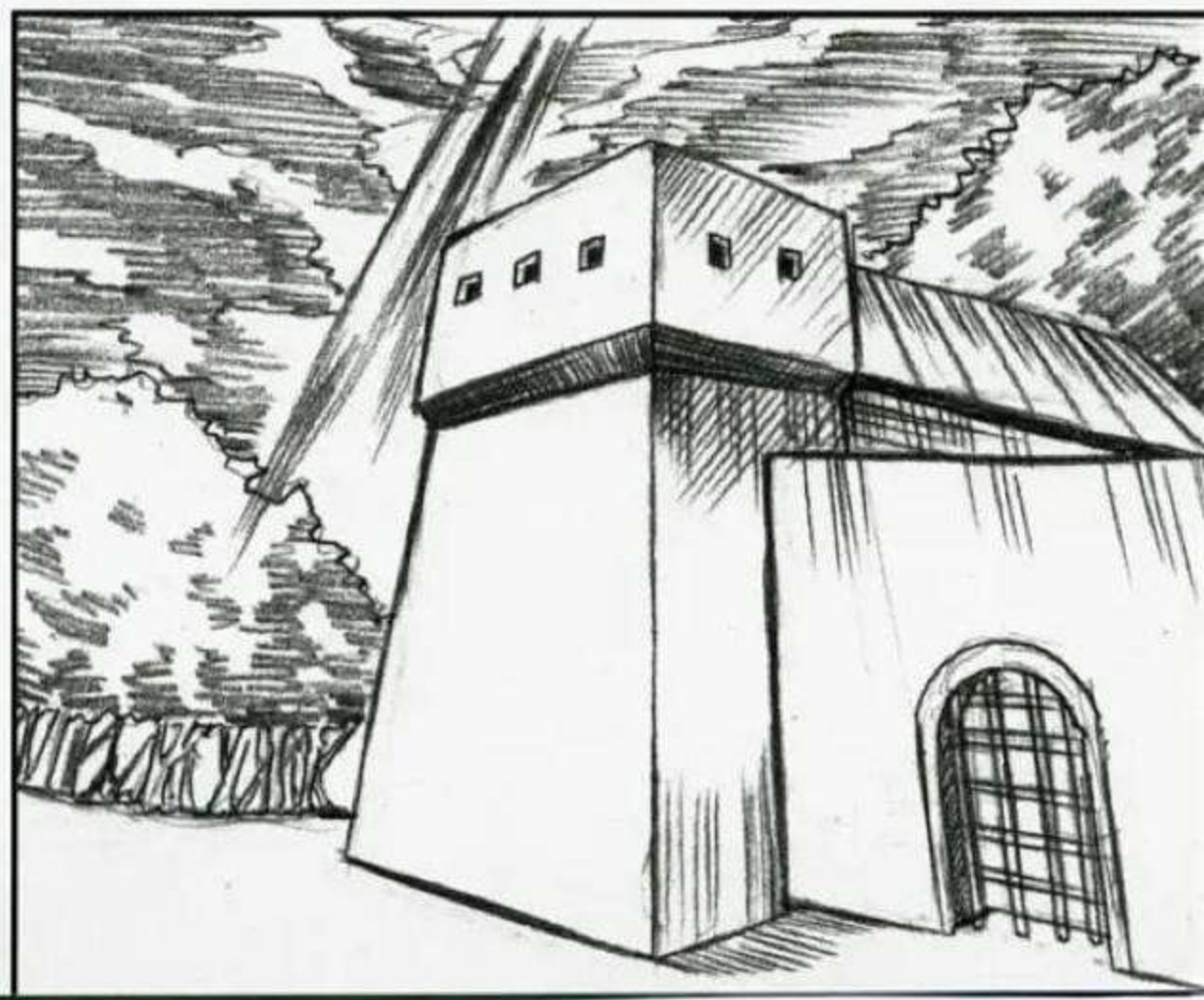
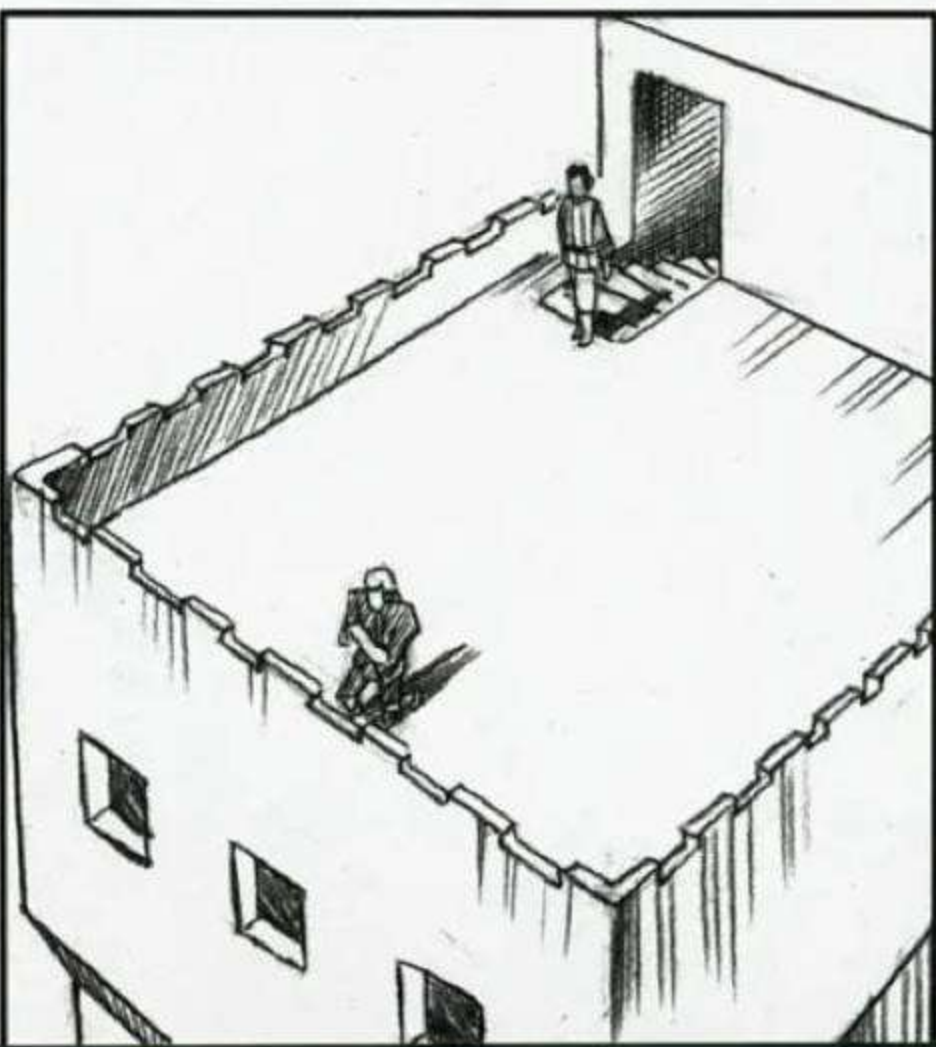
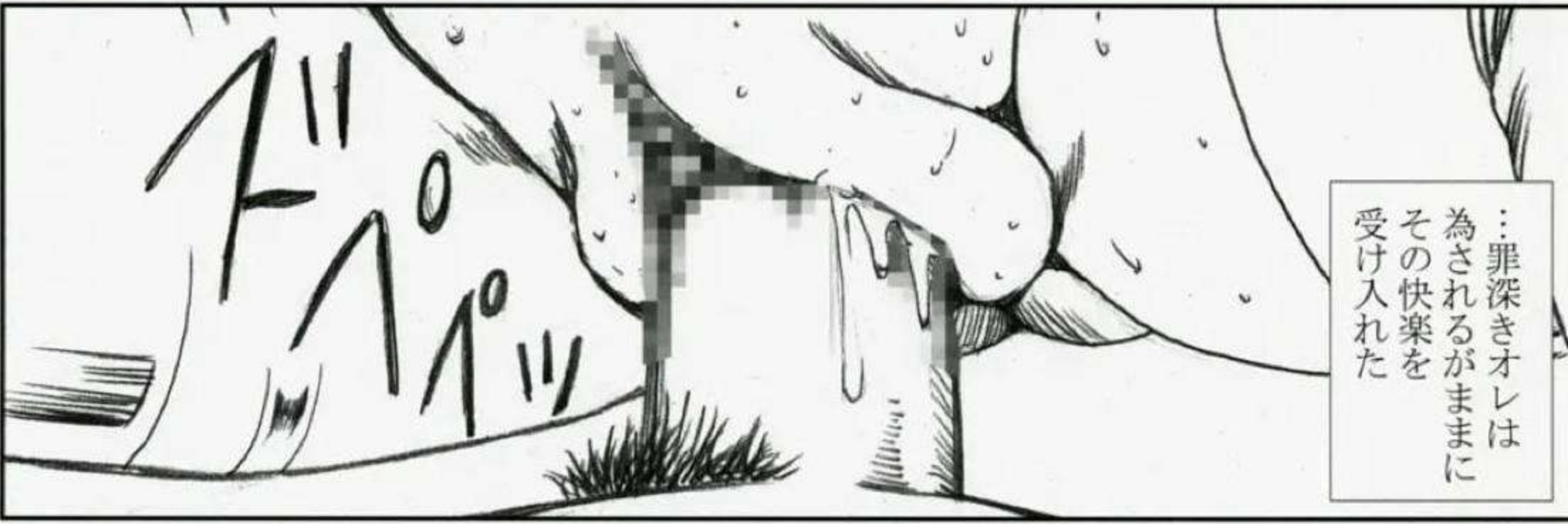
全てを受け入れた  
天使様が…  
可愛らしくも  
卑猥なオマ○コが…  
倒錯の快楽が…  
羞恥の笑みを浮かべ  
迫ってくるッ

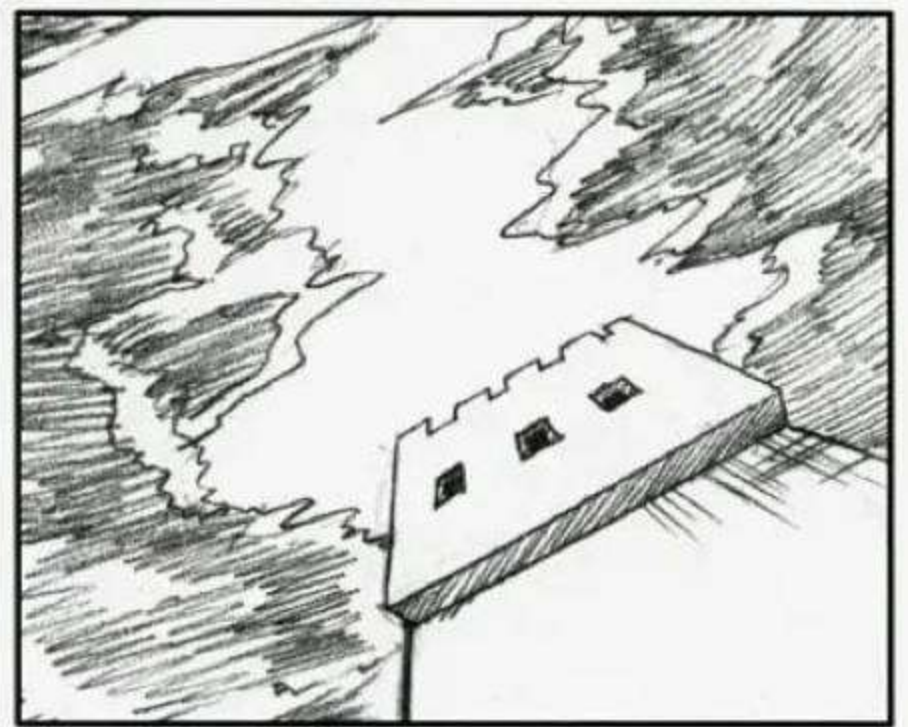


そして：  
神聖なる天使様は  
何の躊躇いもなく  
背徳の快楽と：  
オレの精液を求め  
自らその腰を下した



：罪深きオレは  
為されるがままに  
その快楽を  
受け入れた





…こうしていると  
あの晩の事を  
思い出す

己の肉欲に流され  
教会に忍び込んだ  
あの晩の事を…

あの晩、オレは  
自らの欲望を  
満たした後…  
夜番の修道士に  
見つかつた

彼は、きっと…  
神聖なるモノを  
汚したオレを  
こっぴどく罵り  
怒鳴る事だろう  
と、覚悟を決めたが

意外にも  
その修道士は  
優しい顔で  
ただ一言  
こう言つた…

祈りなさい

心に曇りがあると  
自覚するのなら

その一言が…  
犯してしまった罪を  
咎める事よりも  
再び、同じ過ちを  
繰り返さない事  
が大事であり

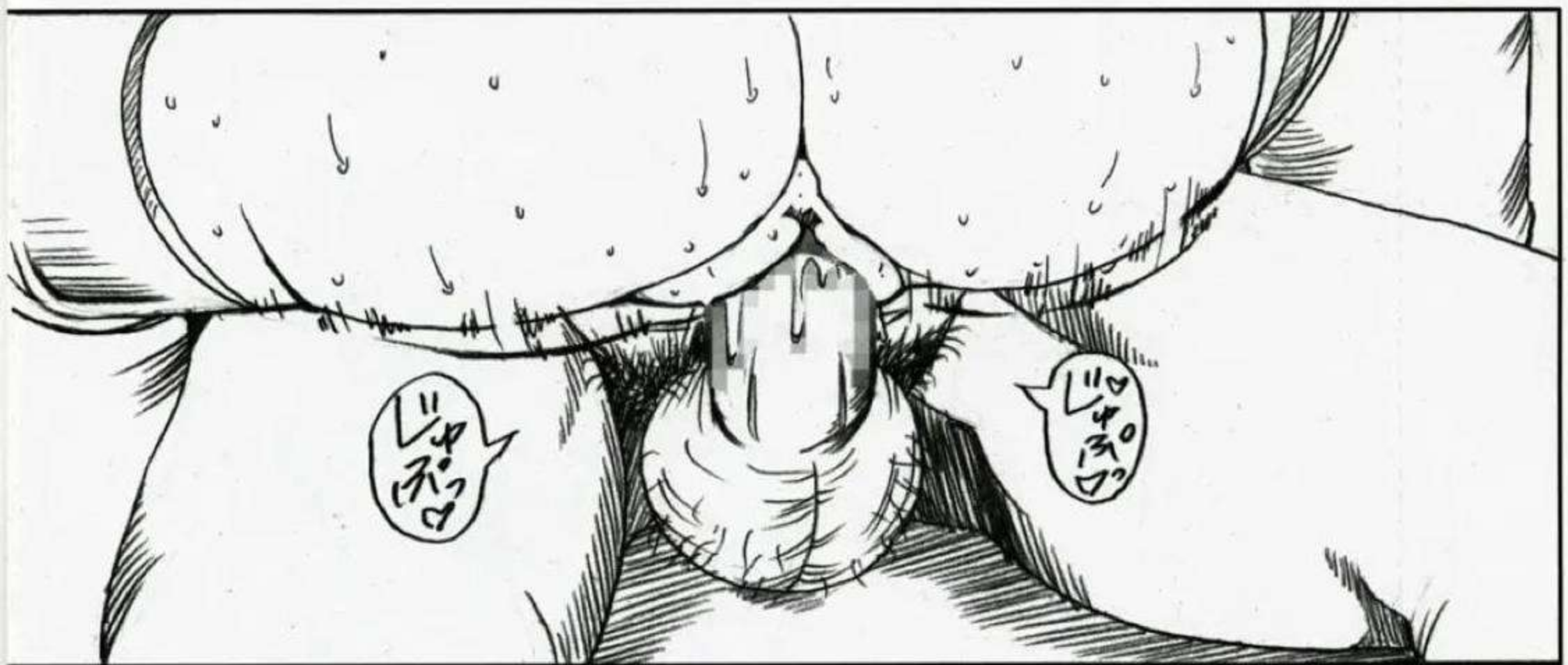
…そのために  
自ら反省し、祈る事  
それが一番大事…  
という意味である事を  
理解出来たのは  
ずっと後の事だつたが

…その一言が  
今でも  
忘れられない

分かってたハズだった…  
同じ過ちを繰り返さない  
自信があったのに  
オレは…



自ら腰を振り、精液を求める天使様…  
その堕ちた表情、上気する肢体…  
その柔らかな感触、淫靡な匂いと嬌声…



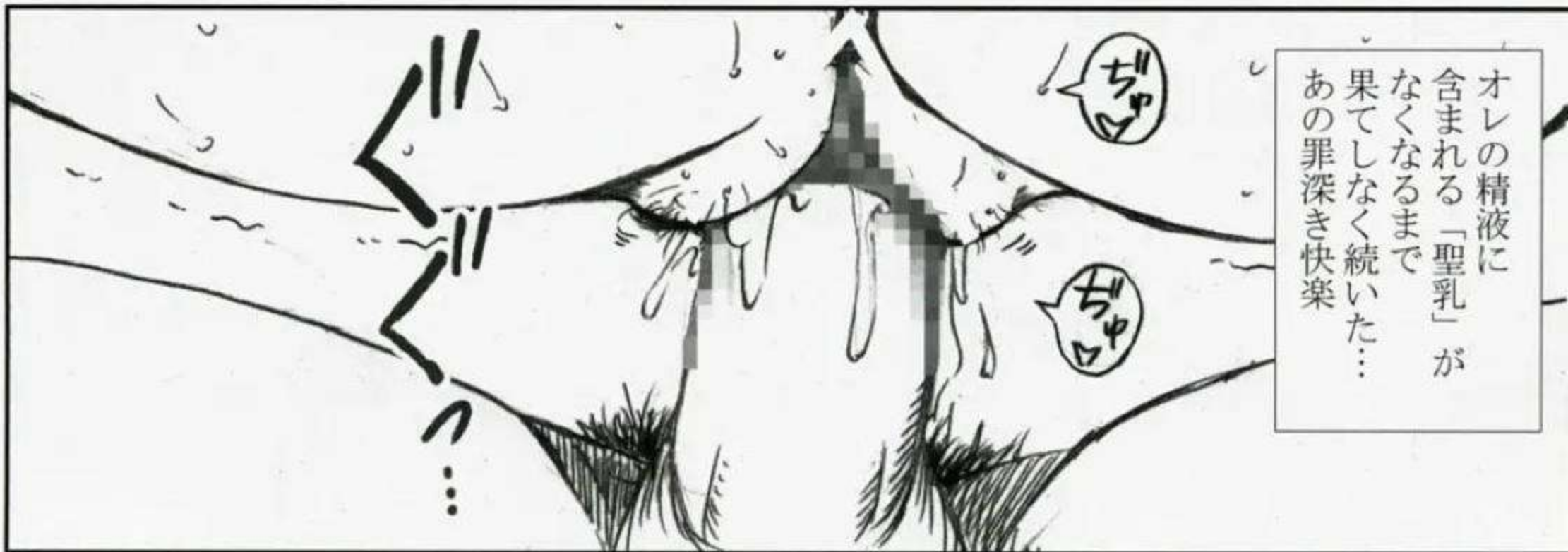
そこに或る至上の快楽の前にオレは  
全てを忘れて、天使様を貪り続けた…





天使様が  
オレの肉棒を…  
オレの全てを  
全力で搾り  
尽くさんとする…  
あの罪深き快樂

オレの精液に  
含まれる「聖乳」が  
なくなるまで  
果てしなく続いた…  
あの罪深き快樂



精子を搾り取る  
天使様の…快樂に  
満ちた表情が  
脳裏に鮮明に  
焼きついて…



そんな罪深き自分が…  
そしてあの天使様が  
許される日は  
本当に来るのだろうか



一抹の不安を感じながらも  
雲間から僅かに顔を出す  
光に向かって  
ただひたすら祈り続けた

いつまでも…  
そう  
いつまでも…

Presented by  
Aburakatabura  
2007

# あとかき

…ご無沙汰してます。

はじめましての方は、驚かれるでしょうが  
本当にご無沙汰…2年ぶりの新刊  
頻繁に活動をしていた頃からは  
実に、4年ぶりになります（汗）

その間、体調を崩したり…  
いろいろ（苦笑）ありまして  
今に至ります。

…まあ、現在でも逐一、HPで  
近況の方は報告しておりますので  
興味のある方は  
覗いてやって頂ければ幸いです。  
（※HPのアドレスは、奥付に記載してあります）

今後は、定期的に同人誌活動も並行して  
行っていきたいのですが…2年前も  
同じ事を書いた後、2年間潜てしまったので  
今回は、敢えて断言しないでおきます（苦笑）

…そんな不甲斐のない我輩ですが  
どうぞ、これからもこれまでと変わらず  
よろしく応援してやっていただければ  
本当に幸いです。

↑はじめましての方は、「何かなんだか…。」  
でしょうね、すみませんです（汗）

BY. ぱぴぷいん

# アカルイヒカリ -獣欲姦獄ナナエル-

<奥付>

## 発行日

2007年 12月16日 発行

## 連絡先

〒536-0014  
大阪市 城東区 嶋野西2丁目20-12  
アルパT 301号室  
高田方「あぶらかたぶら」

<E-Mail> papipunyon@ybb.ne.jp

## Homepage Address

<http://www.geocities.jp/papipunyon/>

## 印刷所

大陽出版 様

## 発行

あぶらかたぶら <since1995>

- ・この本は、成年向きの内容になっているので、18歳未満の購買を禁じます。
- ・この本の内容を無断で複製、または転載することはお断りします。
- ・できれば、ご感想、ご意見、苦情等を送って下さるととても有り難いです。

…光り輝く至福の花弁は  
彼らの獣欲の赴くままに…  
無残なまでに翳られた

Abura  
katabura

since 1995

**for ADULT only**